大正九年十一月十四日第三種郵便物認可

# 新京日日新聞

夕刊　六月二十五日

發行所　新京日日新聞社　新京永樂町四ノ一　電話③二二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　和波黨
印刷人　水越内之介



## 皇帝陛下　あす、宮城御參入
### 午後二時全滿から遙拜

肇國の大精神求めて御訪日あそばされた皇帝陛下にはあす二十六日一億日本國民の御歡迎のうちに横濱港に御上陸、東京驛頭にて天皇陛下と御久方ぶりの御對面の御のち赤坂離宮に入らせられ、午後二時御賀詞奏上のため宮中御參入の御豫定なので、日本全國に湧く歷史的盛儀を遙かにしのぶ全滿四千萬國民があげてラヂオに新聞に、耳を、目をすひつけるやうにして、このめでたき佳日への感激を傾注するさまは涙ぐましいばかりであるが、二十六日午後二時宮中御參入の時刻は全滿國民の赤誠を披瀝する東方遙拜の時刻を定められまづ總務廳前庭において張總理以下全員威儀を正して東方を遙拜日滿交驩の御盛儀を慶祝申し上げるほか家庭に、街頭に、職場に、何れもラヂオのサイレン一下一分間の遙拜默禱をなすなど日滿國交史に新たな一頁を加へる日への感激は刻一刻と高潮してゐる

### 東京驛奉迎の滿洲國關係者

廿六日東京驛ホームに參入して皇帝陛下奉迎の光榮に浴する範圍について關係當局の間に愼重銓衡中であつたが、滿洲國關係者は左の如く決定した、皇帝陛下が御召列車から降り立たせられて御出迎への天皇陛下と御懇篤な御挨拶を御交換遊ばされる第一ホームには筑紫熊七、田邊治通、駒井德三、矢田七太郎、遠藤御作、長岡隆一郎、大達茂雄、入江貫一、宇佐美勝夫ほか元特任官並に同待遇、滿洲國大使館員、第二ホームには出光門司、江崎大阪、白勢新潟各滿洲國名譽領事、司法部派遣判檢事、留學將校、協和會員、元簡任官、田中前中銀總裁以下特殊會社關係者の他特別奉迎者として銓衡された日本國民學校々長加藤完治、文學博士平泉澄、日滿帝國婦人會理事長石丸志都麿、日滿中央協會長宮田光雄、德富蘇峰、岡田滿鐵東京支社長、森口重市滿洲國海軍少將等が列立奉迎する

### シベリア經由郵便物停止

從來シベリア鐵道經由英、佛兩國宛遞送されてゐた郵便物は今回歐洲情勢の變轉に伴ひ之を停止日本遞信省を通じ遞送されることとなつた

## 援蔣輸送路の要衝　横岡峽を占領す
### 英支國境北側に戰果擴大

【廣東廿四日發國通】深圳附近に集結中であつたわが精鋭の一部野溝、石原、長尾諸部隊は廿四日早朝豪雨を冒して突如行動を開始し、英支國境線北側地區を東進、所在の敵遊撃隊を蹴散らしつゝ同日夕刻には深圳東北方約九キロ九龍半島東側英國領海大鵬灣方面の援蔣輸送路上の要衝横岡峽を占領し戰果を擴大しつゝさらに東進中である

### 横崗墟に進入

【深圳廿四日發國通】英支國境の深圳を陥れたわが精鋭野溝、長野、小川、親島各部隊は廿四日午前九時深圳を出發英支國境線に沿ひさらに東北進し午後三時早くも深圳東北廿キロの横崗墟に進入した

## 大編隊群急襲！
### 重慶　連爆に生色なし

【〇〇基地廿四日發國通】わが空軍の精鋭小川、鈴木高橋、松山、竹下、片倉各部隊の大編隊群は廿四日午後五時敵首都重慶に對し第五次攻撃を敢行、軍需工場群に巨彈を投じこれを粉碎した

【〇〇基地廿四日發國通】中支艦隊報道部〇〇基地廿四日午後九時發表
海軍航空部隊は去る十八日第十三次重慶夜間爆撃行以來内陸一帶を蔽へる惡天候のため奧地據點潰滅の機を阻まれありしところ廿四日折柄の快晴に乘じ佐多部隊長の率ゐる大編隊を以て勇躍重慶を急襲、同地殘存敵軍事施設に巨彈を浴せ、全機無事歸還せり

【〇〇廿四日發國通】〇〇基地にて支那派遣軍報道部發表
暫らく天候不良のため休養中なりしわが小川、鈴木、高橋、松山各部隊の陸の荒鷲は海軍航空部隊と策應し廿四日の快晴を期し勇躍重慶爆撃の途につき午後五時敵の新軍事輸送地帶たる北碚場（重慶北方約廿キロ）を攻撃全彈命中各所に火災を起さしめ甚大なる損害を與へ全機無事歸還せり、なほ本攻撃に當り敵機數機と交戰稍々確實なるもの一機を擊墜せり

### 陝西の共産軍根據地猛爆

【太原廿四日發國通】陸鷲山崎部隊の〇〇機は廿四日賀龍麾下共產第百廿師三五十九旅の根據地たる陝西省の綏德を爆撃多大の損害を與へたが、晉西北地區におけるわが猛撃に相呼應して連日如く陝北後方據點の爆碎を行つてゐる陸鷲の活躍に今や同地區の敵は收拾すべからざる大混亂に陥つてゐる

【晉北〇〇にて廿四日發國通】空の精鋭山本中尉の率ゐる〇〇機は二十四日朝黃河對岸の要衝府谷を急襲、敵戰車ならびに軍事施設に對し巨彈を投ずると共に逃げ惑ふ敵部隊に對し猛烈な地上掃射を浴びせ多大の損害を與へて無事歸還した

### 佛軍機北阿へ

【マホン＝ミノルカ島＝廿三日發國通】フランス空軍の一部は對獨休戰協定に慊らず北アフリカに逃避して最後まで抗戰を繼續せんとしてゐるといはれるが、佛本土と佛領北アフリカとの中間地中海上にあるミノルカ島のマホン港においては廿二、三の兩日フランス軍用機群が同島上空を通過南方に飛び去るのが見受けられた

## 諸法令調整　委員會を設置
### 委員に權威者網羅

滿洲國政府は國勢の飛躍的進展と内外諸情勢の變化に即應するため基本法以下の現行諸法令に對し實質、形式の兩面より再檢討を加へさらに未制定の法令を整備し滿洲國の實情に適合する法制體系の確立を期するため諸法令調整委員會を設置することゝなり、諸法令調整計畫要綱を廿四日の定例國務院會議に報告した、よつて政府は近く國務院訓令をもつて同委員會規定を公布することゝなつたが、右規定によれば委員長には星野總務長官、委員には關係各部首腦者、協和會、民間各機關の學識經驗豐富な權威者を國務總理か任命又は委囑することゝなつてをり政府は近くこれら委員の任命又は委囑をなす筈である



## 人的資源育成に百年の大計（上）

首都警察廳副總監　田村仙定

世の中で一番大事なものは人間である、所謂持てる國持たざる國といふことを云ふのであるが、その意味は物的資源といふことであらうが、さて資源の中で最も大事なものは人的資源ではないかと思ふ

**幾**ら物が澤山あつても人間がなかつたら折角の物も何にもならない、結局人的資源が豐富にあることが本當の意味で持てる國ではないかと思ふのである、さういふ風な考へ方から行くと資源を開發する或は生產設備を擴充することも勿論大事であらうけれども、人間を多くする、或は人間を立派に育て上げることが、國家として一番大事な責務ではないかと思ふ

**こ**のことは今迄にも云はれてをる譯であるけれども、最近世界に起る色々の事柄を見てゐると、特にさういふ感を深くする、今度のヨーロッパ戰爭に現はれた事實について見ても、如何にもドイツ人がフランス人に勝つてゐるのであつてそれはドイツの物がフランスの物に勝つてゐるのではない樣に思はれるのである、日本自體が東亞新秩序建設と云つた大事業に直面して見ると何と申しても人だ…色々の意味で…といふ氣がして來るのであつて、現に至る處人が足りないといふことを聞くのである

**新**東亞建設の事業が本格的になれば、この中心になるのは日本である、從つて日本人が幾ら數が澤山あつても尙且つ足らないと云ふやうなことになるのではないか、滿洲國、新中華民國、蒙疆その他にどれだけ澤山の人的資源を送らねばならぬだらうか、否これらの中心たる日本に如何に多くの人的資源を要するだらうかと想像する譯である、今日の不足は昨日の怠慢の結果であつて、明日の足と不足とは今日の準備如何に懸つてゐる譯である

**吾**々は今まで人を育て人を遇するに營利と云ふこと、目前の採算と云ふことのみに立脚してやつて來なかつたかどうか折角金を掛けて養つた人間を路傍の石ころの樣な扱をしたことが無かつたか、或はまだ若い身空の者を金の高で引つ張り合つて結局は其の者をスポイルして仕舞ふ樣なことをしてゐないか

**要**するに目前のことでなしに遠い先まで考へて人の養成、保存と云ふことを考へてゐるかどうか、明日を擔ふ者を國家的に深遠な計畫の下に育て育み看護してゐるがどうか、大いに考へねばならないのではないかと思ふ、私は警察に職を奉じてをる關係上、又大使館の省兵事員として日本帝國の徵兵檢査の事務をも擔當してゐる關係上さういふ方面から見て

**滿**洲に來た若い人達の精神的な傾向及び身體的狀態に付て隨分考へさせられるものがあるのである（この項續く）

## 佛印經由　援蔣ルート監視
### 南支派遣艦隊一部海防に派遣

【東京發國通】帝國政府は佛領印度支那經由の援蔣物資輸送禁絶に關し曩にフランス政府と交渉の結果わが國より監視員を派遣することとなつたが、廿五日取敢へず海軍では南支派遣艦隊より艦艇の一部を派遣することとなりその旨左の通り發表された
大本營海軍報道部公表＝廿五日午前十一時佛印經由物資輸送狀況監視のため南支派遣艦隊より取敢へず艦艇の一部を海防に派遣することとなれり

## 「西部戰線戰ひ終る」
## 佛伊休戰協定成立
### けふ、午前一時卅五分停戰

【ローマ廿四日發國通至急報】フランス、イタリー休戰協定は廿四日夜佛伊兩國間で調印を終り成立を見た

### 軍事行動停止

【ベルリン廿四日發國通】總統大本營午後十時發表＝廿四日午後七時十五分伊佛兩國間に休戰條約が調印された、よつてこれにより六時間後の廿五日午前一時卅五分滿洲時間同午前八時卅五分をもつて軍事行動は停止しこゝに西部戰線の戰鬪を終了する

### 休戰條件を受諾

【ボルドー廿四日發國通】フランス政府は廿四日閣議を開きイタリー側提案の休戰條件に檢討を加へた結果これを受諾するに決し、目下ローマに滯在のフランス側特使に對し休戰協定に調印するよう命令を發した

## 政治新體制胎動
### 近衞公を繞る　政黨各派の動向

【東京發國通】近衞公が樞府議長を辭任し愈よ擧國政治體制確立のため乘出す決意を表明せることは政界、財界、軍部各方面に相當の衝動を與へ近衞公を繞る新黨運動の今後の動向は注目されてゐるが、右に對する政黨各派の態度は左の通りである

民政黨　民政黨は過日町田總裁の演說で表明せる如く擧國體制確立の趣旨には同意見であるがこれを具現すべき方策、内容などについて新黨樹立を畫策しつゝある人々の眞意が未だ判明するに至らぬので依然愼重な態度を持し靜觀の域を出でず、今後の近衞公の出樣を待つて對處する方針である

政友久原派　久原派では既に他會派に率先して國內體制整備の急務と解黨の用意あることをセン明してをり强力新黨樹立に對しては全幅の贊意を表するが近衞公により如何なる新黨をつくるかは今後に殘された問題で、それを充分に見極めた上出所進退を決する、必がある、また果して理想的な新黨が出來たにしても解黨を行ふのは新黨結成準備が充分に出來上つた上でなければならないとしてゐる

政友中島派　中島派では既に黨として確乎たる方針を決定してをり、近衞公の樞相辭任は豫定の筋書で進められたものであるからこの際決斷對策を講ずる必要はないが近衞公が樞相を辭任されたことは即ち新黨に乘出したといふことで事態は頗る明瞭になつて來た、いづれ近衞公の方で新黨結成のプログラムが出來るであらうからこれを見た上で善處すべきである、政治新體制の確立は今日の輿望であり、これを纏めるのは近衞公を措いてはかにないのであるから今後の進行が容易であらう解黨の問題は新黨の結成と睨み合せた適當な時期に行ふべきであるといふ態度をとつてゐる

社會大衆黨　本部に緊急常任中央執行委員會を開き論議を進めた結果新黨の性格に對する希望と新黨の結成に合致すべき新黨の結成の前には解黨を辭せずといふに意見一致右趣旨の聲明を發表した

## 新分野を打診

【東京發國通】近衞公は樞密院議長の要職を去つて愈よ擧國一致の新政治體制確立のため挺身乘出すことゝなつたが、公がその第一歩として先づ如何なる態度を取るかは各方面から注視を浴びてゐるが、近衞公としては當分專ら既成政黨方面以外の新分野における反響を打診すると共にこの方面の意見を聞いた上で新體制結成に關する自己の見解を披瀝して高度國防國家の確立、新外交方針の樹立、國內戰時體制の結成を根幹とする新組織形態を天下萬民に呼びかけんとするものの如く從つてこゝ暫くは蹶起前の屈縮とも言ふべき狀態を持するものとみられる而して公が既成政黨の解消を絕對條件としてゐる一は勿論であり情勢の緊迫は政友兩派はもとより民政黨と雖も解體追隨のやむなきに至るのではないかとみられる

### 外交轉換懇談會

【東京發國通】外交轉換國民時局懇談會は宣言決議の趣旨を貫徹するため左記二十五氏を實行委員に擧げその第一委員會を廿四日午前十時より日比谷山水樓で開催、米內首相、有田外相、畑陸相、吉田海相等を歷訪して宣言決議を提出、善處を要請しなほ七月七日の事變發生記念日當日を期して全國一齊に講演會を開く豫定である

## 人的資源の活用に再檢討
### 人事行政一大轉換

滿洲國政府は內外經濟諸情勢に對處するため目下人事處を中心として人的資源の合理的活用を目途とする人動計畫を樹立すべく考究しつゝあるが、先づ其の應急的措置として各部、局、特殊團體、特殊會社、準特殊會社に對し人事運營方針を示達したが、政府今回の示達趣旨は左の如くである、即ち

一、精鋭主義の强化　建國以來建設的諸事業並に事務量の飛躍的增加のため職員の需要も又急激に增加し、其の結果質よりも量に重點を置かざるを得なかつたが、現下の實情に於ては量より質への所謂精鋭的人的資源の活用により國策の浸透を期す

二、滿系職員の徹底的訓育　實務を徹底的に行ひ事務能率の向上を圖ると共に實務を通じて滿系の訓育を通じて協和精神を體得せしむ

三、經費の緊縮化　資金の窮屈化に伴ひ人的資源の合理的活用は焦眉の急務となり、適材を適所に配置する事により官制上の定員を削減し以て經費の緊縮を行ひ且つ實員により事務能率の向上を圖る、かくて政府は從來資金、資材部門の重點主義による緊縮方針に比して比較的緩慢であつた人的資源方面に再檢討を加へ重點主義を以て臨むに至つた事は政府今後の人事行政上に一大轉換を齎すものとして注目されてゐる

### 王克敏氏歸燕

【北京廿四日發國通】王克敏氏は日本訪問を終へ廿四日午後三時西郊飛行場着歸燕した

### 人事往來

着京
▲田中藤作氏（本溪湖セメント取締）二十五日來京大都ホテル
▲吉田政次郎氏（滿鐵社員）同
▲藤原源太郎氏（奉天米井商店）同
▲鷲山義直氏（奉天會社員）同
▲筒井小八郎氏（商業）同
▲折友茂吉氏（奉天會社員）同
▲中鹽喜六氏（大連高島屋）同松屋ホテル
▲宋宗幹氏（安東電々社員）同
▲渡邊正樹氏（鞍山昭和製鋼）同
▲柏原三郎氏（東邊道開發）同帝都ホテル
▲住喜代志氏（陸軍美術協會）同
▲西谷淳一郎氏（雜誌創造社長）同

出發
▲丸山清次氏　奉天へ
▲清水進氏　同
▲本村仁一氏　同
▲平尾通巳氏　同
▲西中宗正氏　大連へ
▲澤田和明氏　大石橋へ
▲堀切晉之氏　齊々哈爾へ
▲大島義朗氏　北京へ

### その日く

新黨運動漸く相貌を明らかにして來、いはゆる政界が動き出した
◈
それが政界のみの動きに止まつてゐては、國民の期待は滿されまい
◈
問題は國民總動員體制の政治面に於ける再編成にある筈
◈
フランスにとつては愈よ「亡命文學」が書かれる時代となつた
◈
つひに伊太利にも屈して曾つての名畫などもローマに送るか

# 時局に處して布かう 商店法 制定を叫ぶ！
## 首聯・全滿率先し提案

**在京** 勤勞邦人青少年大衆に開かれた唯一の進學の門、新京青年學校が曩に在學生に對して行つた「環境調査」の結果は既報の如くいづれも惠まれぬ環境を克服し一路向學精神に燃えて精進しつゝある頼もしい姿を示してくれた、ことに商店員の如き一日の生活に於て眞に彼等が自由に開放される時間は僅に五時間乃至七時間睡眠にもこと缺く環境に鬪ふ雄々しい姿には涙ぐましいものさへ感じさせられる實情である、然しかうした奮鬪努力の反面に彼等の體位は漸次低下の傾向を見せつゝあるといふ憂ふべき報告がもたらされた、正に由々しき問題である、とくに在滿青少年の教育問題が現下の重要問題として眞剣に叫ばれ、これが對策に検討が續けられてゐる折柄、これ等

**青少**年の惠まれぬ環境を緩和しようと言ふ問題が本年度首都聯合協議會の組上に乘せられることゝなつた即ち商店員を多數抱擁してゐる數島連絡幹事會では心身共に健全なる青少年を要望する時局に鑑み傳統的な習慣の苔に繋がれ孜々營々と活動しつゝある惠まれない商店員の待遇改善を目指して此問題を本年度首聯へ持ち出すことゝなり、この程日本橋、富士、三笠、吉野、祝、入船、朝日、中央、西廣場、白菊各分會共同提案として商店法（會社法）制定に關する件の題名下に追加議案として提出した

**提案**の理由は、現下の時局に鑑み且つ滿洲國の健全なる發達完成を期する爲商店員の待遇改善を目的とする開閉店時間の統一、休業日の制定、その他店員の慰安、體位向上、青少年の善導等に關し具體的法令制定を要望すといふのである、この問題は一面青少年の教育問題と共通するものであると共に滿洲に於ては首聯にはじめて火蓋を切る問題である、これがどう取扱はれるか晴れの舞臺に論戰の華を咲かせるであらうことを豫想され一段の注目を惹いてゐる

# 代用食元氣で國政を處理

●○……飯米節約に範を垂れて張總理以下大臣連も代用食でお腹をこしらへ躍進滿洲國の國政處理にあたらうといふ心強い話題＝それは廿四日定例國務院會議に際していつもの通り午食が出ると なんとこれが高粱飯に支那料理、元來國務院會議の午食は國都飯店と中央飯店から交互に納められてをり、總務廳庶務科ではその獻立を監督するのみで別段に特別な註文はしないので同日高粱飯と支那料理の獻立も仕出し側の都合によるものらしかつたが

●○……そこは四千萬國民指導の大任にあたる人々たちとて默つてこの料理に箸をつけたところ中々美味だつたので高粱飯から代用食にまで歡談はしばし續いた擧句これからは時々高粱飯だけでなくその他の代用食をも食膳にのせて飯米節約の一端に資すると共に各民食を順次試食して食事を通じて民族協和に盡さうと一石二鳥の申合せを談笑裡に決定した

# 郷土防衛戰士に光明
## 義勇奉公隊員を軍人待遇 遺家族救恤の溫い心やり

協和會の實踐運動機關として郷土の防衛に任じ國礎の強化國力の發展に努力する協和義勇奉公隊員及びその家族の優遇に關して協和會中央本部では滿洲軍人後援會及び滿洲國赤十字社との間に協定案を提出して種々折衝を重ねてゐるがその内容は

▼協和會義勇奉公隊員が公務（訓練を含む）のため傷病死等を發生した場合は日滿軍警に準じて弔問或ひは慰藉及び扶助を行ふ

▼もしもその遺家族に生計困難なるものがあるときは實情を調査して生活に必要な扶助をなす

等を中心としてゐるがこれが實現の曉は義勇奉公隊員及びその家族に輝かしい光明を與へると共に奉公隊の活動に更に拍車をかけるものとして注目されてゐる

# 映畫を通じ滿洲紹介

いまだに匪賊と悪疫の巣位に思はれ勝ちた滿洲國の實情を世界に紹介するため日本旅行協會の斡旋により滿洲觀光映畫「滿洲ところどころ」の同協會懸賞募集シナリオ一等當選作品を滿映辻野力彌監督の手で映畫化することゝなつた 同映畫は大連、新京、鞍山、四平街、撫順、哈爾濱、承德のほか北京をも紹介單なる觀光以外に興亞の據點滿洲國と北支の連鎖を強調する

# 順天小學校 完成

（校）（歌） 順天小學校では生徒達が機會ある度に自分達の學校の歌として合唱すべき校歌を新京第一中學校々長矢澤邦彦氏に作詩を又作曲を新京音樂院長大塚淳氏に依頼中であつたがこの程メロデーも朗かな新校歌が見事に出來上り近くこの發表會を開催するはこびとなつた

# 提督の武勳を偲ぶ
## あすから〃東郷元帥遺蹟展〃

〃皇國興廢在此一戰〃の力強い文字を日本人なら何處の誰でも一度は眼にした事があらう、來る二十六日から三十日までの五日間、寶山百貨店に開かれる東郷元帥遺蹟展は桑折武官の推賞になるものだが、小笠原長生閣下が元帥遺品の特別出品などあつて、現下非常時に於ける我々の認識と覺悟を更に一段と深め確める【寫眞は元帥と展覽會目錄】

# 御着京 あす 東都の奉迎
## 日滿兩國旗で埋る

【東京國通】滿洲國皇帝陛下晴れの御入京をお迎へする東京市の準備は全くなり、御着京の廿六日を御待ち申上げるばかりになつてゐる 廿四日東京驛から二重橋に至る大通りには幅六尺長さ十二尺の紫地に黄色で奉迎と染め拔いた大幟が宮城側と東京驛側に高らかに掲げられ、質素ながら心から慶祝の意を表して東亞盟邦の元首を奉迎するに相應しい數寄屋橋通りと銀座通りは既に各町會がそれぞれ日滿兩國旗で街頭を飾り、鋪道上一杯に日滿兩國旗を掲揚するなど薫風の市内は先づ日滿國旗から奉迎のスタートが切られた

# 御殊遇に感激
## 義勇軍の父 加藤完治氏

【内原發國通】特別奉迎者として東京驛頭に滿洲國皇帝陛下をお迎へすることとなつた義勇軍の父加藤完治氏は滿洲建國以來土の戰士の養成送出に努めて開拓國策遂行に多大の功勞のあつたことを嘉せられる思召によるもので皇帝陛下が開拓事業に特に御關心あらせられることも拜察されて畏き次第であるが、加藤氏は内原訓練所で光榮に感激しつつ左の如く語つた

滿洲建國の聖業に青少年義勇軍三萬餘が汗と忍苦の御奉公を致しつゝあるのは偏へに皇帝陛下の開拓事業に御熱心な御陰であると唯々感激してをります、私達の仕事が民族協和の滿洲國建國精神に副ひ奉ることが出來れば陛下の注意にも副ひ奉れるものと日夜義勇軍のために力をつくしてゐる次第であります、圖らずも今回御身近くに皇帝陛下の奉迎を差許されたことは望外の光榮であります、今後一層奮勵して青少年義勇軍其の他の送出のために日本農村の中堅人物養成に精進する覺悟です

**勤勞奉仕隊入所式** 錦州、間島、興安三省代表百四十四名の入所式が二十五日午前十時から協和會館に於て擧行された【寫眞】

# 〃附屬地の水饑饉解消〃

新京市内舊滿鐵附屬地の用水は現在西廣場にある滿鐵給水塔から供給されてをり市では義和屯の井戸水から二本の給水管を設けてこれを補助してゐるのに對し去る十四日そのうち一本の給水管に故障を生じたため三階以上の高層建築物は殆んど水が出ず市民を渇水に喞たしめたが、廿四日漸く復舊約二千噸の給水が可能となつたので一先づ水饑饉から救はれることゝなつた

# 軍人遺家族の授產所開設
## 足代・家計補助金を交付

軍人後援會新京支部では日滿軍警の銃後援護を使命として活動を續けてゐるが、今回新たに首都本部内に授產所を設置して職業輔導を行ふことになつた

（同）所にミシン五十臺を設置專門の教師を招聘して刺繍、編物、裁縫等を教授することゝなつてゐるが、第一回は滿系現役、除隊、傷痍軍人の家族で十三歳以上の婦女五十名を集め七月十日から廿日間材料を全部支給して誰にも分り易いやう初歩から教授し製作したものには其出來高に應じて工賃を與へ家計の補助にさせる豫定である

（か）うして習ひ覺えた技術によつて獨立營業或は内職または工場で働く場合に役立たせ授產期間中には一日二十錢乃至四十錢のバス代、家計の補助等も行ひ成績優秀な者は指導員に登用、期間中休まなかつた者には修了證書授與など、溫い親心こもる計畫實施のため新京支部では用意に忙殺されてゐる

【寫眞左から村松、深井、網代の三氏】

# 五線で描く〃滿洲〃
## （音）（樂） 深井史郎氏 視察に來滿

作曲家深井史郎、日本音樂新聞社長松村道彌の兩氏は新京音樂院の招聘により、音樂院の作曲家網代榮三氏の案内で廿四日午後五時廿分新京驛着列車で來京したが約一週間滯在、國都の音樂界を視察のうへ更に國境方面及び開拓村などを巡歴して生々しい生活記錄を樂譜に盛り込み日本内地の人人に廣く音樂を通じて紹介することゝなつた

# 妙案・メーター制！
## 惡癖防止にこの手如何

**馬車・洋車**

交通難を喞つ市民は唯一の足と頼む馬車、洋車の利用は從來にない激增ぶりでこのところ馭者は收入增加に大ホク〳〵しつゝある如く一部不良馭者はこの交通難を好機とばかり法外な賃銀を要求、行先並に乘客の選擇等から市民對馭者の紛爭は目拔街各所で演ぜられ、これが影響は甚大なものである

●▲ 關係各機關では種々對策を講じ芟除に努めゐるが、にしろ資材入手難から新製造不可能で現在車輛數り一向增加とならず何時なつたら醜い市民と馭者の紛爭が消えるのかと各當局の頭痛の種となつてゐた窮餘の妙案馬車メーター制に目をつけた首都乘用馬車人力車組合では差當つて馬車にメーター機を備へつけ二十四日午後首警保安科係官によつて實地檢査を行つたがなか〳〵良好でこれならばどんな遠ぐまで乘つても高い安いのいざこざは皆無だと係官一同太鼓判を捺したので組合では速急に明朗化すべくメーター機入手に奔走してゐる 馬車メーター制の實施に當つて保安科では先に申請中の料金値上げを或る程度考慮し大體一區五百米七、八錢、百米を增す毎に一錢增となるものとみられるが何れにしろこれにより惡風一掃が出來ること間違ひなしと多大の期待をかけられてゐる、なほ同メーター機には時間待用のメーターがないため完全とまでは行かぬがあとは乘客の紳士的態度で解決したいと組合では語つてをり、洋車に關してはこれに準じたものをと目下頭を捻つてゐる

# 五角彩票
# 五百圓の夢
## 愈よ八月にお目見得

滿洲に住む誰もがもつ夢＝經濟部發行の裕民彩票は從來發行の一圓券のほか五圓券が頭彩三萬圓の夢を誇つて物凄い賣行きをみせ、更に有產階級を目指す十圓券も今秋ごろまでにお目見得すべく具體案が進められてゐるが、これらの彩票を購買出來ぬ階級＝滿洲名物華工や工人にも同じやうに生活の潤ひを與へやうとの額面

（五）角の小型彩票がいよいよ八月二十日を期して全滿一齊に發賣されることゝなつた、これは五片綴り一片一角の安價な彩票で頭彩は五百圓だが十本作つてあることが特徴で末字彩はなく差し當り八、九、十の三ケ月間四十萬枚（二十萬圓）を發行十一、十二月と工人たちの減少する冬期には三十萬枚、（十五萬圓）を發行、その名も

（五）角券勞工裕民彩票、と銘打ち得彩金額は次の通りである 頭彩＝五〇〇圓、一〇本（附彩一五圓、二〇本）二彩＝一五〇圓、一〇本（附彩五圓、二〇本）三彩＝五〇圓、一〇〇本（附彩二圓五角、二〇本）四彩＝五圓、五二〇本 五彩＝二圓五角、一〇四〇本 六彩＝一圓、二六〇〇本 得彩總數＝四二二五

# 高田會頭の辭意固し

高田會頭の辭意表明に關して招集された大連商工會議所議員總會は廿四日午後三時半から同所會議室で開會首藤、相生兩副會頭はじめ全議員出席、熟議の結果任期終了まで僅か一旬餘のことでこの際高田氏の今期中留任を要望する決議をなし首藤、相生兩副會頭の外に大塚三井大連支店長、瓜谷前會頭、田中五品取引所專務ら五氏を委員に推し同四時一應散會、五氏は直ちに高田氏邸を訪問議員總會の決議を傳達したが高田氏の辭意は極めて固く結局翻意するに至らなかつた模樣である

# 大同公園に溺死體

二十四日午前十一時大同公園水池で年齡三十歳位の鮮系男子の溺死體を巡視中の四道街署安達保警長が發見東洋醫院田中善平氏の檢視を求めたが死後三日を經過してをり身許不明、なほ身長五尺二、三寸、瘦形、背廣を着用してゐる

# 歐洲向小包取扱停止

歐洲大戰の擴大に伴ひ滿洲國と歐洲各國との交通は殆んど杜絶狀態に陷り各國向小包郵便物の送達は不可能且つ危險と見られるに至つたので、政府は當分の間これら各國宛小包郵便物の送達を廿四日以降禁止する旨同日附交通部佈告を以て公布した

**才津電々參事榮轉** 滿洲電信電話株式會社參事才津新造氏は同社大阪社員養成所長を命ぜられ二十六日あじあで赴任に決定二十五日暇乞挨拶に來社

**鈴木喜三郎氏** 【東京發國通】前政友會總裁正三位貴族院議員鈴木喜三郎氏は廿四日午後十時心臟麻痺にて九段の自宅において逝去した、享年七十四

**協和書院 廿五日開店** 豫てより吉野町一丁目に於て着々準備中の處愈よ内地有力出版所と特約成り主要出版物大量入荷店内も整備し廿五日より開店、讀書子各位の御用命を待ち居ると

**あす（廿六日）**

▲協和會中央本部企畫局會議 於軍人會館午後四時
▲馬政局會議 於軍人會館午後四時半
▲史談會 於中銀俱樂部午後五時半
▲歐洲大戰講演會 西廣場滿鐵厚生會館午後七時半
▲詩吟會 於國防會館午後七時
▲世帶道具商會議 於太子堂午後七時
▲首聯議案整理委員會 於首都本部午後一時
▲時局講演會 於協和會館午後七時

**今晩の放送**

▲七・三〇（東京）講演「癩豫防事業について」吉田厚生大臣 ▲七・四〇（東京）管絃樂「ピアノ協奏曲」井上園子 ▲七・二〇（東京）立體落語「頭」柳家金語樓 ▲八・四〇（新京）講演「不動產登記整理について」西尾極 ▲八・五〇（安東）詩吟「富士山」他、藤沼徨風 ▲九・〇〇（東京）ラヂオドラマ「暖流」（二）夏川靜江

## 夕刊娯樂　海外小噺集

**あちら流名和長年**

交通巡査氏がスピード違反の車を押へた。運轉手に向つて、帳面を取り出し「コラ、名は何といふ？」運轉手君答へて曰く「アロリシウス、アラステオア、シイブリアン」巡査氏、帳面をしまひこみ「面倒な名だな、今後わしに捕まらんやうにせえ！」

**或る逃走**

「君信ぜられるかね？彼奴は來賓みんなが結婚式場に並んでる時に本當に逃げ出したんだよ！」
「多分勇氣を失つちやつたんだらう！」
「違ふ、勇氣を再び見出したのさ！」

**大調査官**

ジョン「僕は別な洋服屋を探さねばならん。今のはあんまり調査し過ぎるんだ」
スミス「調査し過ぎる？」
「さうなんだよ、いつも寄越す手紙がさ、〃小生の帳簿全巻を調査仕候處〃つてんで始まつてるんだよ」

**休暇**

店員「今度の月曜には休ましていただきたいんですが？」
支配人「どうしてかね？」
店員「私の銀婚式でございまして」
支配人うなつた「何ぢやと二十年置きにわしはそれを認めにやならんのかい？」

**罪は何れに**

細君が御亭主に、お友達を數人夕食に呼んだわよと言つた、やがて細君が下の廣間に行つて見ると御亭主は家の傘をすつかりしまひ込んでゐた。「何してらつしやるの？」彼女は訊ねた「みんながカッパラつて行くとでも思つて？」「違ふよ」彼は答へた「このボロ傘を認識されるのが怕いのさ」

**將來の悦樂**

司令者（賞讚演說を終りつつ）「われらの舊き友はわれらの間にこゝに四十年生きて來たのであります、今も生きてゐられる、そして氏は今後も永くわれらとともに生きたいと言はれる、諸君私はそれに、我らやがて此處に氏が葬らるゝのを見るであらうと附け加へ得るのみであります」（楠 寛太譯）

## 御訪日を記念「歡喜」の曲募集
### 音樂院再度の試み

音樂報國に蹶起した新京音樂院ではさきに昨年十一月明治の佳節を期し東亞新秩序建設の聖業を祝禱記念して東亞交響樂を募集、澎湃たる東亞新興の雰圍氣を樂譜に盛つた入選一等に日系二等に白系露人の作品を採用、近く公演する運びになつてゐるが、今回更に紀元二千六百年御慶祝のため皇帝陛下御訪日の盛儀を迎へ之を記念するため第二回作曲募集を行ひ日滿兩國の禮樂と親交とを慶祝することになつた

應募條件は締切十月末日發表十二月十五日で、入選二名に夫々五百圓づつ一千圓の賞金がかけられて居り、東洋的色彩を多分に有し日滿兩國の萬歲を祝禱して曲名も「歡喜」と名付けられ管絃樂大行進曲の出現が期待されて居る

## 「黎明曙光」に感謝狀
滿洲國 當初治

安工作史の一頁を飾つて殉國の華と散つた友田參事官清水指導官らの義烈をテーマとした滿映製作の「黎明曙光」は目下全滿各地で上映中であるが、安東省では當時を偲び殉國者の英靈を慰めるためこの程關係者相寄つて試寫會を開催、友田參事官らの涙ぐましいばかりの治安工作の努力に今更ながら胸をうたれ、堀內省次長は同時に滿映牧野製作部長宛に殉職者旌表を謝して感激の謝狀を寄せた

## 古丁氏作「平沙」
### 滿映で映畫化企畫

本年度の民生部大臣賞を獲得した古丁氏「平沙」はかねてこれが映化についでは滿映計畫課にて協議中であつたが愈よ本格的に映畫化すべく準備に入つた

尙ほ同映畫は滿映最初の文藝映畫として其の企畫が期待されてゐる

## 忘却の沙漠へ

△佛ACE映畫、土匪と砂塵の狂ふサハラ沙漠を背景に、痛ましい過去を忘れやうとする男、新しい冒險を追ふ若者、法に追はれてゐる男等、幾つかの生命が異常な環境の中で、それぐの目的を求めて生活を營んでゐる、その中へ突然美貌の一女性が現はれた、サハラ沙漠に狂ほしい熱情の嵐が吹き始めた――佛蘭西のディートリッヒといはれるマルタ・ラバーラを中心にシャルル・ヴアネル、ジャン・ピエール・オーモン、ポール・アザイス、ボリス・アーレキン、ルネ・ダリイ、レイモン・コルデイらが共演、ジャック・コンスタン原作、ミシェル・デュラン脚色によりジャック・バロンセリが監督に當つた、帝都キネマ廿六日封切

## 雜音

新キネ、豐劇の「歴史」日曜日を峠として月曜日は遂に兩館ともガタ落ちの態、朝日座の「巨人ゴーレム」の强引に完全に轢死の浮目を見せ、香しからぬ記錄を止めた▼次いで第二、三部の登場であるが、ミス・ワカバの女流漫才を以て補强につとめても、第一部の難解さから續篇へ多くの期待を繫ぎとめることは望み得ず、遂に御難な大作となり終りさうである▼田村邦男とフォアー・シスターのアトラクションもお粗末であり過ぎた、これが兩館日に合計六回の掛け持ちをやるのだから愈よ無殘なものとなつた、速成の陣容だらうが、水準に達せざること遙るかに醜態と隣り合はせてゐた▼豐劇は切角バックを張り込んだが飾り榮えのしないものとなつた▼なほ豐劇のこのバックはこれからのアトラクションのために半永久的に使用するものだと言はれるが特にアトラクションのために舞臺裝飾を施したのは本館が嚆矢のやうに思ふ、未だ充分なものだとはいへないが、アトラクション演出に舞臺設備を整へるといふことは、今日の如くアトラクション興行が殆んど常打ち的なものとなつては、他館においても早急に考慮せなければならぬことゝ思ふ

# 腕づく半次 (57)

中川雨之助
西正世志畫

暴風のあと

『斬れ、斬つてくれ。俺を殺して濟むことなら、思ふ存分やつてくれ、その代りお嬢はんは、どうか勘辨してくれ、賴む、この通りだ！』

俠の意地も、面目も振捨てゝ、蒲團に顏を擂りつけて、哀願する平太の姿の慘めさよ。

しかし、彼のその一生懸命も、只徒らに、相手の嘲りを呼ぶばかりであつた。

『はゝゝゝ、何アんだ。指一本でも觸れて見ろ承知しねえぞ、といつた口の下から、俺を殺して、娘を助けろか。はゝゝゝ世迷ひごとも大概にしろッ。それッ！』

と、合圖の一聲。

情け容赦も無い荒くれ男の腕、腕、腕が、お藤を捉へて、引放さうとする。お藤は放れまいとして、平太は放すまいとして必死となつて爭ふはずみ、行燈は倒れて眞の闇となつた。

『あれえ』

と叫ぶお藤の悲鳴。

『うむ』

と苦しむ、平太の呻吟き。

『うぬッ』

と罵る曲者の怒聲。

物凄い、そして慘しい鬪爭が、しばらく闇の中に續いた。

が、間もなく、戶外に飛出して來た曲者たちは、降りしきる雨の中を、一團となつて驅けて行く。その中から、血の出るやうなお藤の悲鳴が斷々に、雨風の音に縺れて次第に遠ざかつて行く。

騷ぎの後へ、野呂勝が戾つて來た。

表戶は開けッ放しで、雨風の吹つ込み放題だし、燈火は消えて家の中は眞暗かりだ。

『オヤこいつは變だぞ？』

と、野呂勝の、鈍い頭にも、何か知らぬがピンと、不安なものを感じた。

『平太兄イ…お嬢はん…』

いくら呼んでも返辭が無い。ビクビクもので、足探りに上つて行く。

『平太兄イ…お孃はん…』

すると、苦しさうな呻き聲が、幽かに闇の中から聞えて來る。

『あッ』

驚いて、灯を點さうとしてヒウチイシをカチ〳〵やるけれどあわてゝゐるし、怖ろしいし手がふるへて、野呂勝、思ふやうにならない

『わッ、兄貴……』

漸く點した行燈の灯明りに、照し出された、四邊の狼藉たる光景。

平太は、蒲團の外へ、遠くのたり出て、兩手を伸ばして俯向きに倒れたまゝ、うーむ〳〵と唸つて居る。

『兄貴……一體これは、どうしたと云ふんだ。なア兄貴、確かりして……』

藥土瓶から、藥湯の殘りを茶碗に浸して、口の端へ持つて行くと、平太はゴクリとのみ下したが、夢からでも醒めたやうに、

『お孃はんは〳〵』

と、野呂勝に、いきなり獅嚙みついた。

『お孃はんは居ねえぢやねえか、どうしたんだ』

『浪人組の奴等が、攫つて行つたんだ』

『げえッ』

『勝——、俺ら口惜しいッこの……この病氣が怨めしい。踏んだり蹴つたり、散散な目に遭はされてその上お孃はんを連れて行かれるなんて、信樂の平太の俠もこれでお仕舞だ』

と、云ふかと思ふと、傍に落散つてゐた白刄を握つて、いきなり腹へ突き立てようとする。

『あッ、兄貴！マ、マ、待つてくれッ』

その手へ遮二無二、野呂勝はすがりついた。



## 商況 二十五日前場

毎外電齊報

| 品目 | 相場 |
|---|---|
| 倫敦金塊 | 一六八志〇 |
| 倫敦銀塊 | 二一片八分一 |
| 同 先物 | 二一片〇〇 |
| 紐育金塊 | 三五弗〇〇 |
| 紐育銀塊 | 三四仙四分三 |

▲外國爲替

| 品目 | 相場 |
|---|---|
| 米英爲替 | 三弗七〇仙〇 |
| 米日爲替 | 二三弗四七仙 |
| 米支爲替 | 六弗一八仙 |
| 英日爲替 | 一志四片一六分五 |
| 英支爲替 | 四片四分一 |
| 英佛爲替 | 一七六法五〇 |
| 米獨爲替 | 四〇仙一〇 |

▲紐育株式

| 品目 | 相場 |
|---|---|
| スチール株 | 五三弗二分一 |
| アナゴンダ株 | 二〇弗四分三 |

▲紐育棉花

| 限月 | 相場 |
|---|---|
| 現物 | 一一仙〇四 |
| 七月限 | 一〇仙二七 |
| 十月限 | 九仙三七 |
| 十二月限 | 九仙三一 |
| 一月限 | 九仙〇九 |
| 三月限 | 八仙九二 |
| 五月限 | 八仙七六 |

▲印棉

| 品目 | 相場 |
|---|---|
| ブローチ | 一六九留比二分一 |
| オームラ | 一五四留比四分一 |
| ベンゴール | 一二二留比三分一 |

## 各地株式市況

▲東京株式(短期)

| 銘柄 | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 新東 | 一五九四 | 一五九八 |
| 大新 | 七二三 | 七二〇 |
| 鐘紡 | 一六六〇 | 一六六三 |
| 同新 | 一〇三三 | 一〇三九 |
| 帝新 | 一〇三三 | 一〇四一 |
| 洋新 | 八五二 | 八六四 |
| 日魯 | 七二九 | 七三六 |
| 郵船 | 七四〇 | 七四一 |
| 同新 | 一〇一〇 | 一〇一四 |
| 日石 | 八四三 | 八四七 |
| 日立 | 七八六 | 七八九 |
| 滿業 | 八〇五 | 八〇六 |
| 電工 | 七〇四 | 七〇三 |
| 東電 | — | — |
| 日電 | — | 六四八 |
| 滿鐵 | — | — |
| 糖新 | 七九五 | 七八四 |
| 日曹 | 七九四 | 七八四 |
| [illegible] | 六二〇 | 六二〇 |

▲大阪株式(短期)

| 銘柄 | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 大新 | 七一八 | 七一六 |
| 新鐘 | 一〇三四 | 一〇三三 |
| 鐘紡 | 一六三八 | 一六三〇 |
| 滿業 | 六九七 | 七〇三 |
| 日魯 | 七三六 | 四三七 |
| 帝新 | — | — |
| 商船 | 九九〇 | 九九六 |

▲大連株式(短期)

| 銘柄 | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 五品 | 三二九 | 一〇七 |
| 大新 | 七二二 | 七二二 |
| 新東 | 一三九三 | 一三九五 |
| 滿業 | 七一六 | 七〇三 |
| 鐘紡 | 一六六四 | 一六六三 |
| 同新 | 一〇三三 | 一〇三三 |
| 滿鐵 | 七六八 | — |
| 豆新 | — | — |
| 土木 | — | 一八五 |

## 各地商品市況

▲大阪綿布

| 限月 | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 六月限 | 三七九五 | 三八〇〇 |
| 七月限 | 三六四〇 | 二九五五 |
| 八月限 | 三二一〇 | 三三〇五 |
| 九月限 | 三二七〇 | 三四〇五 |
| 十月限 | 三四一〇 | 三四一五 |
| 十一月限 | 三四九五 | 三四八五 |
| 十二月限 | 三五七〇 | 三五九〇 |

▲大阪棉花

| 限月 | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 六月限 | — | — |
| 七月限 | — | — |
| 八月限 | — | — |
| 九月限 | — | — |
| 十月限 | — | — |
| 十一月限 | — | — |
| 十二月限 | — | — |

▲大阪期米

| 限月 | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 當限 | — | — |
| 中限 | — | — |
| 先限 | — | — |

▲大阪人絹

| 限月 | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 當限 | — | — |
| 五月限 | — | — |
| 六月限 | — | — |
| 七月限 | — | — |

▲横濱生糸

| 限月 | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 六月限 | 一三四一 | 一三四三 |
| 七月限 | 一三〇〇 | 一三〇三 |

| 限月 | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 八月限 | 一四九九 | 一五〇四 |
| 九月限 | 一四九九 | 一五〇〇 |
| 十月限 | 一五〇〇 | 一五一〇 |
| 十一月限 | 一五〇一 | 一五〇七 |
| 現物 | | |

水曜 六月二十六日 庚子 先勝 破 箕宿
東京・本郷・神誠館

●一白の人 和合はありても福德には至つて緣の薄き日 乙と壬と庚が吉
●二黒の人 先見の利かぬ日 新規の事には手を出す勿れ 北と南と丙が吉
●三碧の人 働き甲斐の現れ來る日 午前中が最も吉 坤と北と壬が吉
●四緑の人 空景氣のみ強くして實收の少なき日 坤と北と丙か吉
●五黄の人 奥歯に物の挾まりたる如き感じの生ずる日 北と南と東が吉
●六白の人 表面幸福の如く見えて秩序亂れ勝なり注意 東と南と坤が吉
●七赤の人 社交上の事は勿論日常の小事も緊縮が肝要 南と東と西か吉
●八白の人 調子に乗り過ぎて失敗を招き易し自重第一 丙と西と艮が吉
●九紫の人 陣容を整へ自重して進む時は意外の效あり 東と甲と乙が吉

大正九年十一月十四日 第三種郵便物認可

朝刊
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 和波…
印刷人 水越內之介



# 皇帝陛下けふ御入京

## 畏し聖上御出迎へ

### 最高儀禮を以って東京驛に臨御

皇帝陛下には御船路いと御平安に愈よけふ廿六日午前九時卅分横濱に御着港、同十時卅五分滿五年振りに我が國土に御上陸、輝く御來訪の第一歩を印せらるるのである、この朝高松宮殿下には天皇陛下の御沙汰により御召艦日向に皇帝陛下を御出迎へ遊ばされ艦上にて親しく御會見、次いで十時卅五分皇帝陛下には御差遣宮殿下と御揃ひにて第四號岸壁特設第一浮棧橋より御上陸、同十時四十五分御召列車に御同乘遊ばされて一路御東上、同十一時卅分東京驛御着御入京遊ばされるが、この晴れの御入京に當り、天皇陛下には特に最高儀禮を以て御召列車の到着に先立ち、午前十一時十分宮城御出門、皇帝陛下を御出迎へのため東京驛に臨御、同驛松之間にて御少憩の御後第三プラットホームに玉歩を運ばせられて皇帝陛下を御待ちうけ遊ばされる、これより先各皇族殿下をはじめ奉り米内首相以下重臣等も御出迎へ、御召列車は皇禮砲轟く裡に午前十一時卅分御到着、ホームに堵列する陸軍々樂隊の滿洲國々歌奏樂裡に天皇陛下には遙々御來訪の皇帝陛下と御對顔、固き御握手を交させられて御ねぎらひの御挨拶を述べさせ給ふ由である、次いで皇帝陛下には皇族、王公族各殿下と御對面を終へさせられ、諸員に御會釋をあらせられて天皇陛下と御共に近衛儀仗隊を御閲兵、同驛御車寄廣場にて天皇陛下の御見送りのうちに宮中差廻しの自動車に召され高松宮殿下と御同乘、本庄接伴員御陪乘自動車鹵簿にて同驛御發、午前十一時四十五分御旅館赤坂離宮に入らせられる、かくて皇帝陛下には御午餐後午後一時五十分高松宮殿下と御同乘、晴れの宮城御參入のため赤坂離宮を御出門同二時天皇、皇后兩陛下の厚き御出迎へを受けさせられ鳳凰間において天皇、皇后兩陛下と御對顔、皇帝陛下には輝く紀元二千六百年に當り御訪日の御挨拶を述べさせられて午後二時卅五分宮城御退出、同二時四十五分赤坂離宮へ御歸館遊ばされる由に承るかくて天皇陛下には午後三時三十分宮城御出門、赤坂離宮に行幸、御車寄まで御出迎への皇帝陛下と狩之間において親しく御會見、御答禮の御挨拶を遊ばされ午後三時五十五分赤坂離宮御出門還幸あらせられる、またこの夜天皇、皇后兩陛下には皇帝陛下を御招き遊ばされ午後六時三十分から宮中豊明殿に臨御、各皇族殿下にも御臨席遊ばされ皇帝陛下を御中心に緣したゝる大内山の夜をこめて盛大な御饗宴を御催し遊ばされ皇帝陛下の御旅情を御慰め遊ばされる御豫定と承る

### 紀州沖を御通過

海軍省公表＝（廿五日午後三時日向艦長發海軍武官府入電）＝廿五日正午御召艦は潮岬及び大島の南方附近を陸岸近く通過し熊野沖に向ふ、皇帝陛下には御機嫌極めて御麗しく後甲板に御出ましあらせられ當方面の風景を御覽遊ばさる潮岬附近にて陸上の小學生その他熱誠なる國民の御奉迎に對し御會釋を給へり、神武天皇の御東征の御模樣に關し詳細に亘り御下問あり、寺崎接伴員より種々奉答致したるところ、陛下には當時を偲ばせられ紀州の山々を御感慨深く御望みあらせらる、又大島の東端に聳ゆるエルトゥグルル號の記念碑に關し明治天皇の御仁慈及び今上陛下のこの地に御立寄りあらせられしことなど詳らかに御説明申上げたるに、皇帝陛下には折柄降りしきる細雨にも拘らず極めて御熱心に御覽あらせられ、なほ當方面の漁業その他につき御下問あらせらる、午後零時半頃より朝來の雨雲次第に薄れ、視界愈よ良好となる、午後二時空全く晴れ、初夏の陽光照り映ゆる中部甲板に於て畏くも皇帝陛下には乘組員准士官以上隨員一行と共に記念撮影をさし許され光榮の限りなり、偶々附近の漁船御召艦附近の距離を通過、帽子を振り奉迎の赤誠を現せるに對し畏くも御手を振らせられ御會釋を給ふ、次いで後甲板に於て艦長及び寺崎接伴員より熊野方面の地形、神武天皇御上陸遺跡に關し現地につき御説明申上ぐ、折から軍樂隊の奏する勇壯なる奏樂を御興深げに聞召されつゝ警備驅逐艦の戰闘運動を御覽遊ばされ痛く御滿足の御樣子に拜す引續き卅分間に亘り乘員の角力を御熱心に御覽あらせられたり

## 除家滙地區警備

### 佛よりわが軍の手へ

【上海廿五日發國通】中支軍發表（六月廿五日午前九時）日佛兩軍は日佛兩軍司令官の協定に基き昭和十五年六月廿五日午前九時極めて友好的に除家滙地區の警備を交代せり

今回日佛兩軍當局間に極めて友好的に警備擔當を交代した除家滙地區は佛租界西端に隣接する三角地帶でエキステンションの虹橋路がその中央を走りわが東亞同文書院、天文臺等の文化施設をもつ支那家屋密集せる重要地區である、同所の警備は戰前までは上海市政府によつて行はれてゐたが去る昭和十二年十月わが軍が蘇州河の線を突破し南市に向け敵急退に轉じた際つた支那軍は除家滙地區より佛租界内へ遁走せんとする形勢にあつたためわが軍當局では支那兵遁入による不慮の事態發生を防止する見地より當時の佛警備軍當局と折衝の結果同地區一帶の警備を佛警備軍の手に委ねることとなり爾來同地區は佛軍警備地區として今日に至つたものであつた然るに租界周邊地區の情勢も一變せる今日同地區の警備は當然占領軍たるわが軍の手に歸せらるべきものなるためわが警備軍當局では佛軍當局に對し右事情を説明し警備交代の申入れを行つた結果極めて友好的諒解の裡に今回の交代を實現したものである

## 英本土攻撃

### 獨、作戰準備完了？

【ベルリン廿五日發國通】對佛休戰協定の成立により廿五日早曉から戰闘行爲は完全に停止されドイツはいよいよその總兵力を擧げて對英攻撃を開始する段取りとなつたが、信ずべき情報によればドイツ側の對英攻撃準備は既に完了してゐる模樣で、海軍總司令レーダー提督は廿三日以來オランダ、ベルギー各海岸施設の視察を行つてゐるが作戰の準備完成を物語るものとして軍事專門家の注目を惹いてゐる

ドイツが對英攻撃を開始する場合にはまづ一週間乃至十日間にわたつて英國の空軍基地及び英海軍の艦隊根據地等に徹底的の猛爆撃を加へこれに從つて落下傘部隊、上陸部隊等十數萬を送つて海岸上陸據點を占領させたうへ數千の小船舶で全英國海岸の隨所から作戰を敢行するものとみられ上陸に着手し得る時期は七月早々とされてゐる

# 佛印の援蔣行爲熄まず

## 斷乎實力で遮斷

### 新鋭部隊行動を開始

【南支〇〇前線廿五日發國通】廿五日午後九時現地軍發表＝佛印の援蔣行爲停止に關しては日本の數次に亘る抗議にも拘らずわが航空隊の偵察及び補給方面に配置された諜者で避難し來つた安南人の報告によれば依然その跡を絶たざるため軍は斷乎實力をもつてその遮斷を決意し新鋭〇〇、〇〇、〇〇の各部隊をもつて十七日行動を開始した

## 早くも龍州（附近）に到達

【廣東廿五日發國通】佛印よりの援蔣輸送に關しわが南支軍は過去數回に亘り軍當局談をもつて佛印當局の反省を促したが、その後依然たる援蔣行爲續行に憤激去る十七日頃より佛印國境方面における敵軍需品輸送路の遮斷作戰を開始した、たまたまこの間において去る廿二日わが方と佛印當局の間に外交々渉の結果、佛印はその非を悟りわが方の援蔣物資輸送禁絶の要求を承認するに至つたが、南支軍としては軍の既定方針に基づき飽くまで敵輸送路の完全遮斷を期し佛印今後の態度につき重大關心を續けるとゝもに廿五日左の如く軍發表をもつてその所信を明かにした

【南支軍午後六時發表】軍は本月十七日頃より佛印國境方面における敵軍需品の輸送を遮斷すべく作戰を開始しありて、その先頭部隊は既に龍州廣西省附近に到着、主力また陸續殺到中なり、派遣部隊は灼熱の下岩山地帶に執拗なる抵抗を繼續する敵を撃破し、五十キロ餘りに亘る間切斷破壞餘すところなき惡路を補修しつゝ熱沙を卷いて壯絶なる進撃を續行せしものにして將兵の勞苦眞に言語に絶するものあり、しかれども重大使命に奮起感激せる將兵は百數十度の炎熱にも拘らず士氣益昂揚しあり

# 長少將以下廿三名

## 佛印派遣監視員決定

【東京發國通】大本營陸軍部廿五日午後零時半發表＝大本營は佛領印度支那當局がさきに帝國に對し誓約せる援蔣物資輸送禁止の實行を監視するため陸海軍その他より監視員を編成、派遣することゝせり

【東京發國通】大本營陸軍部發表＝陸軍側より佛領印度支那に派遣すべき監視員は長陸軍少將、西原一策氏以下廿三名よりなり、なほ右のほか委員附屬として囑託その他若干名を派遣することゝなれり

【東京發國通】大本營海軍報道部公表＝海軍側より佛領印度支那に派遣すべき監視員は左の通り

委員長 海軍大佐 柳澤藏之助
海軍中佐 根木純一
海軍機關少佐 福岡武
他四名

【寫眞は長少將（上）と柳澤大佐】

### 外務省情報部長談發表

【東京發國通】佛印の援蔣物資禁絶監視のため派遣される檢査員の構成については廿四日の外陸海關係官會議において最後的決定を見たが、右に關し廿五日外務省では次の如き情報部長談を發表した

さきに佛國側は佛印經由重慶政權向け物資の輸送停止狀況視察のためわが軍事專門家の佛印派遣を承認したるによりわが方は軍事專門家若干名および柳澤公使館一等書記官、宗村元河内總領事等を佛印へ派遣することゝなり、外務省よりは在河内帝國總領事館員數名をしてこれに協力せしめることゝせり、右派遣員の一部は近日中出發の筈、なほ右派遣員の佛印到着までの間取敢へず前記物資輸送停止狀況視察のため廣東より陸海軍將校および下士官若干名を帝國海軍艦艇の一部に搭乘せしめて河内に派遣さるることとなり、右艦艇は近日中海防着の筈、なほ佛印より支那向け輸送を禁絶すべき物資の正確なる品目は前記軍事專門家の現地調査後に決定せらるべきところ廿四日佛參事官は西歐亞局長に對し佛印總督は右決定に至るまで佛印國境の全面的封鎖を繼續することに決定せる旨申越せり

### 九龍國境協定

【香港二十五日發國通】外人側報道によれば今次わが軍の九龍國境線方面作戰に關聯して日英間に不慮の事態惹起を避けるため廿五日一、兩軍間に不測の事件發生を防止すること一、右のため必要に應じ軍事聯絡する等につき協定成立するに至つたといはれる

## 英支國境全線の三分の二を遮斷

【深圳廿五日發國通】野溝長野、小川、中島の各精鋭部隊は廿五日午前八時横岡墟を進發、英支國境線に沿ひ東北進し正午には横岡墟東北十キロの坪山墟に突入した、かくて英支國境全線の三分の二を隔絶遮斷し敗敵及び援蔣利敵分子に最後の止めを刺すべき時は目前に迫つた

## 梁山を猛爆

【〇〇基地廿五日發國通】支那派遣軍報道部發表＝陸軍航空部隊は廿五日午後二時卅分梁山飛行場及び舊市街の軍事施設を爆撃多大の損害を與へて歸還せり

### 米、盲爆を抗議

【宜昌廿四日發國通】廿三日の敵機宜昌盲爆により浮棧橋四百トンおよび汽船三百トンに多大の損害を受けた米國ライヂングサン石油會社在宜昌支配人ロードセス氏は廿四日重慶政權宛嚴重抗議を申入れた

### 毛澤東死亡か

【香港二十五日發國通】重慶來電によれば重慶政界では兩三日來毛澤東の死亡説が傳へられ各方面の關心を惹いてゐるが、最近の延安側事情について報告なきため眞相なほ不明である

# わが對第三國外交手段

## 外相、定例閣議で詳細説明

【東京發國通】有田外相は廿五日の定例閣議席上政府は四相會議開設以來米内首相を中心に陸海外三相より持寄つて歐洲ならびに東亞の新情勢に關する情報に基き愼重熟議せる結果支那事變急速處理第一主義の立前を堅持して鋭意東亞を繞る英、米、獨、佛、伊、ソ、蘭等の第三國に對し有效適切なる外交折衝をなしつゝある現狀と見透しとに關し報告するとゝもに

（一）獨、佛および伊、佛兩休戰協定の成立調印と歐洲の新情勢（一）スチムソン氏の入閣による米内閣の改造とこれが歐洲および東亞に及ぼす今後の影響（一）英、米、佛、ソ聯等第三國の物質的精神的援蔣工作の絶滅（一）歐米新情勢と蘭印佛印等に及ぼす影響の深刻化

等につき入手せる新情報および帝國政府が世界新秩序の問題に密接に關聯せる東亞新秩序建設のため當然打つべき外交的手段に關する政府の態度につき詳細に説明した【寫眞は有田外相】

## 滿洲國外交も再檢討

獨伊兩軍の歐洲本土征覇による新秩序の建設進展に伴ひ獨伊兩國と共通の世界觀の下に東亞新秩序建設に邁進しつゝある日本は聖戰目的の達成に必要なる措置として既に佛印並にビルマ援蔣ルート封鎖に乘出す一方不介入原則の建前から戰火波及の積極的防止態勢を示し漸次外交の活潑化を露呈し來つたがかゝる日本側の積極的布告は東亞安定の連帶責務を持つ滿洲側として拱手し得ざるとなし深甚の關心を有してゐる

即ち滿洲帝國としてはかかる事態の新展開は當然歐洲に於ける勢力分野の再編成と脈絡なくして推進し得ずとなし、從つて滿洲國は現狀打破國家群の有力な一環たる立場からこれ等諸國との利害の調整を必要とし、この調整の事實を基礎にして日本外交の先驅的役割又はその補強をなすべしとする意見擡頭し日本外交の展開と歐洲情勢の推移に注目してゐる

# 保徳、府谷に突入

## 晉北作戰猛追撃展開

【晉北前線〇〇廿五日發國通】黄河左岸の要衝保徳を目指して猛進するわが地上部隊の先鋒石丸部隊の一部は廿五日午前十時半保徳縣城に突入、直ちに城内外を掃蕩これに續いて各後續部隊も三方より雪崩を打つて續々入城中で、いまや附近一帶に敵影を認めず對岸の要地府谷縣城もわが手に歸するに至つた

【晉北西境〇〇廿五日發國通】石丸部隊の一部は廿四日午前十一時早くも保徳縣城に突入引續き城内外を掃蕩河岸一帶に亘り息もつかせず猛追撃戰を展開中である

### 宋子文紐育着

【香港廿四日發國通】當地支那側銀行筋の消息によれば十八日香港發米國に向つた宋子文は廿三日ニューヨークに到着した、宋子文の渡米は重慶側今後の外交政策決定に重要關係をもつものと見られる

### 山梨商務司長

山梨經濟部商務司長は廿七日より開催の黒河省縣出席のため廿五日午後五時三十分發あじあにて出發した

## 眞珠灣米艦隊

### 米西海岸移行

【ホノルル廿四日發國通】ハワイに集結中の合衆國艦隊の有力部隊は廿四日午前突如ホノルルの眞珠灣軍港を拔錨、米國西海岸方面に向つたと傳へられる、尙信ずべき非公式情報によれば右軍艦は恐らく航空母艦ヨークタウン號（一九、九〇〇トン）以下巡洋艦驅逐艦その他であるといはれる



### 聖貫聯實行委員 町田總裁を訪問

【東京發國通】聖戰貫徹議員聯盟の實行委員西岡竹次郎、原惣兵衛、倉元要一、道家齊一郎、永山忠則の五氏は廿五日午前八時廿分町田民政黨總裁を私邸に訪問既成政黨即時解消要請決議を手交し約一時間に亘つて善處方を要望した、これに對し町田總裁は

唯今自分の意見を表明することは差控へたいが、支那事變發生以來各政黨の連絡を密にして相協力し時艱克服に邁進したいといふことは繰返し主張して來てゐるのである

と述べ即時回答要望に對しては明答を與へなかつた

### 長谷川檢事來京

長谷川東京控訴院檢事は廿七日より二日間新京合同法衙正府に於て開催される司法部思想科新設後最初の思想實務家會同に出席するため奉天出張中の及川司法部次長同道、廿五日午後五時二十分着あじあで着京した

宇都宮司法部文書科長・厚和高等法院顧問宇都宮綱久氏は今回司法部文書科長に就任することになり、二十五日午後八時二十分新京驛着はとで着任した

### 人事往來

▲上田研介氏（會社員）二十五日來京ヤマトホテル
▲世良隆二氏（滿洲電化理事）同
▲久保正信氏（滿洲電線會社）同國都ホテル
▲市川幸太郎氏（滿洲ソーダ取締）同
▲桝永三吉氏（奉天滿洲計器）同國際ホテル
▲中村隆氏（齊々哈爾官吏）同
▲廣瀬渉氏（牡丹江省公署）同
▲山中賢三氏（齊々哈爾省公署）同
▲淸本扇一氏（哈爾濱毛皮商）同
▲金澤武司氏（哈爾濱滿鐵社員）同
▲井上騏氏（牡丹江製樽業）同
▲金森信一氏（奉天商業）同
▲野澤昌治氏（黒河商工署）同
▲御園生義友氏（營口建築請負業）同
▲山田小一氏（哈爾濱毛皮商）同
▲阿川幸壽氏（四平街市長）同
▲西川櫻氏（大連西川商店）同松屋ホテル
▲樋口建一郎氏（撫順監金局文書課長）同三國ホテル
▲酒香景映氏（三岔河商工公會理事）同
▲小林護氏（滿洲鑛業營業部長）同

# 玄武眼

近衛公の乘り出し決定によつて新黨運動は愈よはつきりした形を取つて來たやうである。いま強力政黨運動が起つて來た事情を考へて見るに、それはおほよそ次のやうなものであらう。國家總動員體制の全面的な強化が行はれるにつれて、強力な政治指導を確保する必要が痛感されて來たが、屢次の内閣の更迭に現れたやうに政治指導の中樞そのものが必ずしも強力でなかつた。國家總力の一元的集中を如實に反映し全國民を迫力を以て指導する強力政府がしきりに要望されるに拘らず、今までの内閣は必ずしも強力内閣でなかつた。その理由は種々あらうが、最も根本的な理由は從來の内閣が國民との強靱な連繫を保證する媒介體を持たず、單に天降り的に國民に對してゐたことにあるであらう、現内閣はこのことに氣づいて政黨を正式に承認し出來るだけ國民との連繫を保つことに努めてゐるが、しかし政黨そのものが自己に對し頗る懷疑的になつてゐる現在、決してそれで充分とは言へないのである。從來の政黨に代る新しい媒介體の創造が必要なのである。今日の強力政黨運動はかかる新しい媒介體を創造せんとするものであらうと考へられる。だがそれが既成政黨の大同團結といふ形で果して成就し得るかどうかは疑問である。しかしそれだからと言つて他に適當な方法もないとすれば、現在の方式を無下に否定も出來まい。ともあれ方式の是非は暫らく措いて、國民が久しく待望した強力政治の實現に近づき、新しい政治體制の編成も準備されるとすればこゝに希望をつながざるを得ない。政治の優位が叫ばれながら、現實の政治は著しく立遲れて國民は當惑するばかりであつた。この立遲れを清算した時國民は東亞新秩序建設に一層の邁進が出來よう。

# 農產物增產對策 遺憾なく遂行さる
## 興農部大臣實施狀況を語る

政府は東亞三國の要請に基き食糧を中心とする農產物增產を企圖、米、麥を中心とする食用作物の應急增產をはじめ農作物全般に亘り時局農產物大增產計畫を樹立し計畫目標確保に全力を擧げてゐるが、近く計畫の樹立を見る農產物增產十ケ年計畫の基礎をもなすものであり、本年度實施狀況は多大の注目が寄せられてゐたが、廿四日興農部大臣は現下實施中の應急增產並に時局增產對策につき大要左の如き大臣談を發表した

□

昨年新たに應急增產對策を樹立しわが國食糧農產物中最も急務とする米及び小麥の應急增產を實施中であるの東亞食糧經濟の確立に對處するため本年更に時局農產物增產對策を樹立しこれが完遂に邁進しつゝある、東亞新秩序建設上に於ける我國の責務極めて大なると共に其の農產資源の開發は焦眉の急務となりたるを以て茲に時局應急政策より恒久的農家經濟更生を基調とする新農業政策の確立を圖らんが爲本年度以後十年を期し農產物增產計畫を樹立することに決した、之等重要政策の圓滑なる遂行を圖らんが爲今回政府の機構の改革を斷行しその内容を擴充すると共に新しきスタートを切ることとした

△應急增產對策

差當り康德八糧穀年度に於ける國內米及小麥の自給を圖らんがため政府は事業費として五十六萬圓の經費を支出し、米及び小麥の應急增產を圖ることとし地方省縣と緊密なる連繫の下に既に之が實施を見つゝある

（一）米應急增產對策

米增產は國有未墾地、荒地開發により耕地面積の增加を圖ると共に單位面積當收量增加の方法として

（イ）施肥による增產 我國水田面積の大半は安東、奉天、錦州、間島、吉林の南滿五省に在り施肥の效果特に顯著なるを以て之等五省管下十六萬陌に對し硫安、大豆粕の現場配給を行ひ增產を企圖した

施肥の技術的指導並に配給に當つては興農部農產司、省、縣並に興農合作社及農事試驗機關一體となり實施に萬全を期してゐるのである

（ロ）病虫害防除による增產 稻熱病の防除對策として吉林省下十六縣五萬陌の播種用種子に對しホルマリン消毒を行はしめ所要藥劑を政府に於て無償配付し、尙之が技術的指導を行ふ爲街村に督勵員を設置すると共に講習會宣傳文配布等により之が主旨の徹底を期した

（ハ）全國水稻多收穫競作會の開催 全國水稻栽培者の水稻增產に對する關心を喚起せしめ米の改良增產に資する目的を以て北滿及南滿の二區に分ち縣、旗、省の選拔を經たるものに付審査を行ひ優良なる者に對し大臣賞を授與する

（二）小麥應急增產對策

新規開墾及二荒地の復興により十萬陌の作付面積の擴張を圖ると共に單位面積當收量增加の方法として

1、黑穗病防除に依る增產 防除方法は從來冷水溫湯浸法による穗子消毒を奬勵し來りたるも今回滿洲の實情に適する粉末藥劑による防除法を採用し本年度は主要小麥地帶七十五萬陌の作付に之を應用した

2、全國小麥多收穫競作會の開催 全國を一圓としたる小麥多收穫競作會を開催し優秀なるものに付大臣賞を授與することとした

△時局農產物增產對策

政府は米、小麥の應急對策を樹立し之が增產に努め來りたるも尙時局の要請に基く一般農產物の積極的增產を圖り東亞食糧經濟の確立に資せんが爲增產に必要なる諸條件に檢討を加へ時局農產物對策を樹立したのである

康德七年度は之が經費として本部地方を通じ四百數十萬圓を追加豫算に計上し尙別途農產物增殖特別助成要綱に基き米穀其の他農產物增殖の爲め國庫並に關係特殊會社の負擔金八百萬圓を地方に配分し地方に於ては夫々現地事情に即應して有效適切な而も獨創的方策を樹立實行し事業の完遂を期した

本對策の實施は現下時局に對する應急策たると同時に將來の增產計畫の基礎をなすものである

（一）作付面積の擴張 農地の造成及び水害防止施設に力を注ぎ農耕面積を擴張すると共に計畫的に集團部落を漸進せしめ二荒地の復舊を圖ることゝした

又開拓國策に伴ふ開拓民に依る開墾及作付を增進し基本計畫に基く今後の入植を促進し可及的急速に北滿未利用の開發を圖り尙又機械農場、勤勞奉仕隊特設農場、市縣旗營學田又は勤勞奉仕農場等を設置し部分的未利用地開發につきても萬遺漏なきを期する計畫である

（二）優良種子の增殖普及 今後各作物別に優良種子に依る計畫的更新を行ひ得る樣採種系統種設を整備擴充し併せて種子配給機構を改める計畫である

（三）勞力の確保 人力に關しては季節的に農業勞力の不足を來す傾向あるが故に之が補給及確保については他產業への農村勞力の流出を防止すると共に其の賃銀を適正化する、尙農繁期に於ける農村の道路工事その他使役徵用等に付ては努めて之を避けると共に學生學童をして組織的團體的農耕作業に從事せしめ或は婦女子の勞働を勸奬する、我國の農業は役畜利用に依存する所極めて大であるが役畜資源の保護並に增產奬勵を行ひ又一方獸疫防遏の徹底を圖り死亡率を低下せしめ畜力確保に努め尙役畜の節約を圖らんが爲共同利用等に依る畜力の合理的使用を奬勵し農耕用役畜不足の緩和を圖る

（四）農業用資材の確保 農具は優秀なる日本內地製作業者の國內招致により之が改良增產を圖り一元的配給機構を整備し優良農機具の普及奬勵に努めると同時に農機具管理所を設置し農機具使用上の指導及修理に當らしめ尙之が價格に關しても適正に決定する

地方更生の主體をなすものは土糞、堆肥、綠肥等の自給肥料の改良增產である、又化學肥料については今後生產力增進の爲には之が增產は最も緊急の事項である

更に農業藥劑に關しては從來殆んど大部分を輸入に仰いで居たのであるが棉花の蚜虫の驅除劑や種子消毒劑等は將來國內で生產し充分需要に應じ得る樣計畫立案中である

（五）單位面積當收量の增加 土地利用の集約化、農耕施肥法の改善及年々數億圓の損害を蒙りつつある病虫害の防除等はその中最も重要なる事項である

政府は畑地灌漑を勸奬し之が爲三百萬圓の助成金を支出し熱河地方に於ては既に數千の井戸が掘られその效果を擧げつつあり

（六）資金の確保 今回興農合作社より更に低利を以て資金を圓滑に貸出することに努め、又貸出時期及び貸與すべき農民等についても充分考慮を拂ふことゝした

（七）精神運動の展開 豐作祈願祭、新穀感謝祭等を實施すると共に農事に貢獻せる篤農家の表彰を行ふ等により農民の退嬰的傾向を一新し勇躍增產に邁進せしむべく協和會を中心とする一大敬農愛耕の國民運動を展開する

# 原棉手當應急對策
## 日本より補給

新棉出廻期迄の應急對策として原棉對日借入交涉のため目下東上中の高嶺工務司長、石橋綿聯專務は廿七日新京着のぞみで歸任する筈であるが、大體十萬擔の原棉手當が確實となつた模樣である

即ち六月下旬大連入荷豫定の內地紡買付外棉一萬六千擔の借入以外に內地紡手持ち棉八萬擔の割讓交涉に成功、これにより新棉出廻期迄の在滿紡の原棉飢饉も一應緩和の貌となつた

なほ原棉手當を見るに至つたので兩氏の歸任を待ち

一、船腹不足に依る輸入棉の運送對策
二、入手原棉の在滿各社への供給割當
三、原棉手當に關する恒久的對策

等の諸懸案審議のため新京に滿關合同總會を開催解決を圖ることゝなつた

# 國策に躍動する滿洲の特殊會社（八）
## 生活必需品會社

支那事變の進展による滿洲國內の生活必需品の獲得難と物價の昂騰氣勢に對處するため經濟部の提唱によつて康德六年（昭和十四年）二月二十三日新京に誕生したのが滿洲生活必需品株式會社である

國民生活向上の基調をなす一般生活必需品の値上げ防止と配給の圓滑化について政府は年來全智全能の限りを盡してゐるが、同社は經濟部の親衞隊として國內における生必品の需給の調整、適正價格の維持、一朝有事の場合の物資動員といふ重大な國策的使命の上に立つてゐる

設立當時は資本金一千萬圓の準特殊會社であつたがその後低物價政策の本格的遂行に伴つて同社の擴充問題が各方面から要望されるに至つたので昨年末特殊會社に改組、資本金も一躍五千萬圓に增資されたのである

同社の統制扱ひ品目は砂糖、協和服並に同服地、茶、ゴム靴、地下足袋、澱粉、鹽鮭、鹽鱒、軍手、軍足等の生必品の全般に亘つてをり、その大部分を日本主要都市に設置した事務所を通じて輸入し、更にこれを全滿十九ケ所の支店、四十三ケ所の配給所を通じ官消、鐵消、鐵道總局生計所、開拓團をはじめ各種消費團體並小賣商等に卸配給をなすのである、洵に世界の如何なる國においても曾て企圖し得なかつた雄渾な理想と強力な實行力を持つ存在と謂はねばならない

近く同社と既存有力業者を一體とした輸入聯盟も設置される豫定で、石鹸、罐詰、海產物、乳製品、絹織物、洋品雜貨、陶磁器、琺瑯鐵器等の輸入を統制し、業者の商權を確保するとともにお臺所にも好影響を與へやうとの一石二鳥の具體策の講ぜられることになつた

さらにまた全滿各都市の市場會社を統合して生鮮食料品に對する全面的統制を實施することになつてゐるほか政府の重要政策の一たる東邊道振興計畫への參畫、生產部內への進出計畫などがありその機能の發揮も一段の光彩を加へるわけである

役員に島田理事長、許副理事長以下入木、木村兩常務理事、石崎、加藤兩理事、神守、石田、喬各監事があり四月三十日の社內機構改革によつて組織も經理部、營業第一部、同第二部と改められ、また各地の支社、事務所、支店、配給所のほかに全滿十七ケ所の倉庫、支庫がある

最後に同社將來の方針につき島田理事長は左の如く語つた

生必品價格並に價格統制の根本方針については既に物價委員會の決定を經てゐるのであつて從來もこの方策に從つて、物價配給機構の全面的調整を圖つて來たが、將來は一層その普及徹底を圖りたい、就中規格の統一、需給の調整については今後に待つべきものが甚だ多いと思ふ、對日期待商品の供給も漸く期待薄となり他面經濟力の發展による需要の增加は必然的に需給の不均衡を狹狀的に大ならしめ延いては物價の統制を困難ならしめる情勢にある、元來生活の合理化は配給の圓滑と表裏一體の關係にあり、物資の計畫的な配給を圖るためには今後の方策の重點を生產部門に集中する必要があると思ふ、現在社員も千名を突破し陣容を整備していよいよ本格的活動に入る事となつたが國家的使命を達成すべく全員意氣軒昂たるものがある



# 日本への支拂急增
## 主因は入超增大

滿洲國から日本に對する支拂が急增してゐることが注目される、先づ對日支拂の主因としては對日輸入超過の急增である

輸出入（一）超過累計別（單位千圓）

| | 總額 | 內日本 |
|---|---|---|
| 大同元年 | （十）二八〇、四八四 | （十）一二九、七〇〇 |
| 二年 | （一）八七、三五五 | （一）一三〇、一六七 |
| 康德元年 | （一）一四五、一三六 | （一）一八九、四九四 |
| 二年 | （一）一八三、〇七二 | （一）二三九、二七二 |
| 三年 | （一）八九、〇七一 | （一）二四八、六四一 |
| 四年 | （一）二四二、一一四 | （一）三四四、七五九 |
| 五年 | （一）五四九、二九三 | （一）五七六、五八八 |
| 六年 | （一）九八一、四〇七 | （一）一、〇[illegible]、四三二 |
| 康七、一—四月 | （一）二九二、二二九 | （一）三〇二、五〇一 |
| 前年一—四月 | （一）一一九、三四四 | （一）一五八、二二六 |

五ケ年計畫實施第二年度たる康德五年以降の入超額は飛躍的に增加し、就中昨六年度の入超總額は九億八千百萬圓であつたがうち對日入超のみは約十億二千萬圓の激增にあることが判る、かゝる傾向は本年に入つても依然として持續され本年一月以降四月迄の對日入超は三億二百萬圓と前年同期に比し一億四千四百萬圓と約倍額の急增振りである、これは勿論輸入單價の跛行的昂騰並先高見越輸入の盛行等も大いに手傳つてゐることゝ見られるが、更に注目すべきことは輸出伸力の停頓である、輸出不振の原因としては、昨年度に於ける農產部面の自然災害の影響の外に、專管制度その他の蒐貨政策並に農產物價格對策の失敗を擧げねばならない、何れにせよ、かゝる統制方策の失敗により貿易基調が根本的に破壞されたことは事實である

對日支拂增加の他の原因として貿易外支拂の增加を見ねばならない、正確なる數字は不明であるが、支拂項目の主なるものは各種勞務利益の送金と對滿投資に對する利子配當金の急增である、勞務利益の送金は昨年度七、八千萬圓見當と見られるから本年度は一億圓を突破すること確實と見られてをり、また利子配當金は昨年度の一億七、八千萬圓より本年度は二億四、五千萬圓に上るであらうと言はれてゐる

かくて上述の如き對日支拂の增加は、何によつてカバーし得るかと謂へば、結局なんと言つても日本の對滿投資の增加にまつより外には方法がない譯であるが、日本側としては滿洲國の將來に於ける生產增加を擔當として金を貸してゐる建前上、何よりも先づ滿洲國側よりの對日原料品供給が要求される、然るに滿洲國側では資金と物資の兩方面を通じて日本からたゞ貰ふばかりで、日本側へ供給することが少いとするならば、それは日本インフレを促進することに役立つばかりであるから、日本としては承服し難いとするのも當然である、こゝに大きな悩みがある、そこで滿洲國としては自己の資力に相應した事業計畫を實施することが要求される「このまゝ放置すれば、對滿投資卅億の元利拂にも窮するときが來る」とは、一部悲觀論者の云ふことだが、あながち樂觀してばかりもゐられない

# 郵船能登丸
## 伊國から歸る

日本郵船會社歐洲ライン能登丸（七、一九一トン船長松岡信夫氏）はイタリーのゼノア港より滿洲國向けの機械類七百八十トンを積取り二十一日夜大連へ入港したが同船に松岡船長を訪へば左の如く語つた

本船は近東イタリーラインの第一船として北歐の戰局酣なる時一月二十九日敢然神戶を出帆二月二十五日イタリーの港都ゼノアに到着、滿二ケ月間同港に待機して刻々に變る國際情勢の進展を熟視してゐたが地中海の紛糾急を告げイタリーが遂に參戰するに至つたので急遽歸途に就いた、ゼノア滯在中ローマ訪問の日本訪伊經濟使節團が來たがその時先般日本を訪問したリベッタ訪日經濟使節團々長がゼノア迄迎へて「日本の武士」といふ題目で映畫や講演等をやり非常に熱辯を振ふ等イタリーにおける日本經濟使節團の歡迎振りは大變なものだつた、戰時下イタリーの物價は從來より二三倍高く物資の統制は完全に行はれ全國民はこの統制經濟に全幅の支持を行ひよく時局を認識し上下一致してこの難局に當つてゐる、社會施設も非常に完備し乞食等は一人も見られぬ、その點日本も大いに學ぶべきだと思ふ

# 五月末哈市銀行帳尻

中銀調査＝在哈市內銀行預金貸出殘高は預金八千四百七十九萬二千圓、貸出一億四千五百五十五萬圓で前月に比し預金は百七十萬九千圓を增加したが貸出は反對に八百四十五萬四千圓を減少最近における金融引締強化を裏書してゐる、しかして各銀行の五月中主要物資金融狀況は左の如くである

（單位千圓）

| | 貸付 | 回收 | 現在高 |
|---|---|---|---|
| 大豆 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 高粱 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 小麥及小麥麵 | [illegible] | 二、九九〇 | [illegible] |
| 綿糸布 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 麻袋 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 包米 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 合計 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 對前月比 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

# 人口二百萬目標に
## 奉天の蔬菜增產

奉天市の人口數は現在既に百三十萬……この調子で行けば五ケ年後には二百萬人は必至の狀態でこれに對應する蔬菜の增產對策も又々修正されねばならなくなつたため市では最近二百萬人人口を目標に本年度を起年として蔬菜增產對策を立直した、新計畫によれば五ケ年後の全市消費量を三二三、〇〇〇瓩と見込みうち七五％二四二、〇〇〇瓩を地場生產によつて賄はんとするものでこのため一陌十五瓩程の生產蔬菜園を奉天市近郊の瀋陽縣に次の如き年次計畫により一三、〇〇〇陌を增設既設園三、〇〇〇陌に加へて計一六、〇〇〇陌を經營せしむる事となつた

第一年度（康德七年）一、五〇〇陌、第二年度三、〇〇〇陌、第三年度三、五〇〇陌、第四年度三、〇〇〇陌、第五年度二、〇〇〇陌、計一三、〇〇〇陌



▽…興農部大臣の談話によれば農產物增產對策は順調に遂行されつゝあるといふ、事實さうであることを願はう

▽…今年は滿洲は隨分と雨が降るやうであるが、その農作への影響はどうであらう、最初の頃數億に値ひする雨だと喧傳されたがその後の實情はどうであらうか

▽…むかし支那では「麥靑うして公に從ふの歌あり」と詩人がうたつてゐる、われらもこの滿洲の原野が豐かに綠の波搖れやがてその黃金の實りに衆庶喜悅の歌をうたふことを希はずには居れない

▽…首都聯協への提出議題に商工移民を助成せよとの案がある、理由はまさしくうなづけるところ、時局の色に蔽はれて偏頗な扱ひを受ける部分があつては好ましくない、いや御本人たちにとつては好惡の問題でなく生存の問題である、こゝにも施策を讚へる歡迎ることを望まねばならぬ

# 商況（二十五日後場）
## 各地株式市況

●大連株式（短期） 寄付 大引

| | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 五品 | [illegible] | [illegible] |
| 大新 | [illegible] | [illegible] |
| 新東 | [illegible] | [illegible] |
| 滿業 | [illegible] | [illegible] |
| 同紡 | [illegible] | [illegible] |
| 鐘新 | [illegible] | [illegible] |
| 滿鐵 | [illegible] | [illegible] |
| 土木 | [illegible] | [illegible] |
| 豆新 | [illegible] | [illegible] |

●奉天株式（短期）

| | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 新東 | [illegible] | [illegible] |
| 滿業 | [illegible] | [illegible] |
| 大新 | [illegible] | [illegible] |
| 同紡 | [illegible] | [illegible] |
| 鐘新 | [illegible] | [illegible] |
| 滿鐵 | [illegible] | [illegible] |

手形交換高（二十四日） [illegible]

# 家庭

## 時事解説　獨逸の植民地要求

▼…獨逸は戰爭に勝てば植民地の返還を要求するでありませう。それにはいかなる理由を以てするか？

▼…第一に、それは國際政治の信義・道德上の當然な要求であるとするのであります。ウイルソン大統領の十四ヶ條には、「凡ゆる植民地要求に關して自由に寬大に且つ絶對公平に調整する」ことが約束され、しかも土着民族の利害も關係政府の權利と同樣に考慮することが約束されてゐました然るにヴエルサイユ會議に於いては自由な寬大な公平な調整は何ら行はれず、土着住民の意見も顧みられず、獨逸政府の權利も考慮されなかつた。そしてヴエルサイユ條約第百十九條は聯合國が強制的に獨逸植民地を奪ふことを規定してゐるからそれは無效であるとするのであります。

▼…第二は經濟的理由であります。ブロツク經濟が強化された現在植民地の經濟的重要性は增大してゐます。巨大なる資源、大なる植民地を持つ英佛米ソはそれぞれブロツク經濟を形成してゐるが獨逸は過大なる人口を有しながら領土は狹小で一片の植民地も有しない。かくて獨逸國民の生存のためにはその食糧品、原料品の供給地として又製品の販路としての植民地の確保が必要だといふのであります。

## 獨身宿舍の悲鳴
### こゝに不滿あり　お米とお部屋と酒

先日滿洲結核豫防協會では新京にある諸官廳、銀行、會社等の獨身宿舍の代表者五十名ばかりを招いて獨身宿舍の生活狀態を檢討する懇談會を開催して種々隔意のない意見を交換しましたが、當日の話題のうちからこゝに生なのを拾ひあげて見ました

▼…食糧問題　米の配給が足りぬ、一人當一ヶ月十五キロといふ算定は既に成人し切つた產業的な仕事をする者には不足はないが、未だ成長盛りの少青年期にあるものや、過激な勞働をやつたり運動量の多いスポーツをしたりする者にはこれでは不足だ　獨身寮では朝夕二食だからその割合で一ヶ月一人當十キロ位しか配給されてゐないやうだがこれは不合理だ　殊に獨身者の糧食の振り方に付て充分考究されねばならぬ此頃は食堂等でも米の配給が充分でないのでパンやうどんでおひるを濟ます者が多くなつたらしいが、これではすぐ腹がへつて勢ひ夕飯を餘分に要求することになる　面倒でも寮で榮養價のあるお辨當を作つて各自に携行させるか屆けるかの方法を講じたい、食糧不足、物價騰貴の現狀では日本食のみに依存することは不合理、不經濟である滿人の食物は一般に低廉で中にはなかなか美味で榮養價の高いものも尠くない、殊に調理法が高熱であげたり炒つたりしたものが多いから傳染病に罹る心配が少い、滿洲食を充分研究してなるべく在滿日本人の生活にとり入れたい

▼…衞生狀態　住宅難は三疊や四疊半の狹い部屋に二人も三人も雜居することを餘儀なくするやうになつた狹い部屋に多人數がゐるため室內の空氣は汚くなり一般に非常に衞生狀態が低下してゐる　一番困るのは病人が出た時で安靜にやすまれる病室も持たぬ病人も氣の毒だが、假令寢るほどではなくても結核性患者などの場合を考へて見ると慄然たらざるを得ない、豫防法としては定期的の身體檢査を屢々行ひ病氣の早期發見につとめること、部屋の換氣淸潔に注意し寢具衣類等をよく日光にあてること、協同して規則的健康的な生活につとめること

▼…精神的方面　一室に多人數雜居する場合に各自の境遇、年齡、性格習慣などの相違から不快を抱かせられる場合が多い、年齡が違へば思想も違ふし家がなくて仕方なく妻子を故鄕に殘して來てゐるやうな壯年者は淋しさの餘り酒をのんで醉つぱらつたり風紀を亂したりして無垢な青少年に惡い影響を與へる者がある　又違つた地方の出身者が同室に居ると大抵氣風も違へば言葉も習慣も違ふためにつまらぬ事から感情を害し合ふことが多い、なるべく同地方出身の同年輩の者を同室させることだ　みんなそれぞれ多忙な仕事を持つてゐて夕方疲れて歸つて來るのだから伸び伸びと自由に振舞へる自分の部屋が欲しい、その滿たされざる心が落つきを失はせ、氣を荒ませ自暴自棄になつたり酒色に近づけたりするので感激性の人や眞面目な人に却つてこの傾向の著しいのは歎かはしい現象である　これをうまく統御するには立派な人格ある指導的な人があつて協力して生活を向上させるのが第一だ、知名の人の修養的な講演などより、あたゝかい親心を以て打解けて相談相手になつてくれる人を彼等は求めてゐる　精神修養は勿論大切なことで東方遙拜などやらせるのも效果があるが　例へば敬愛する父母とか兄弟、恩師などの寫眞を机上に飾つて一日の生活を反省し精神を統一する刺戟物とすることも大變有力な方法の一つではあるまいか

## 斬新奇拔　獨軍の移動野戰病院

電光石火的戰術で、奇想天外の進擊を敢へてするドイツ軍には、それに相應した斬新奇拔な野戰病院の設備がある、それは赤十字の運搬車によつて、負傷兵を戰場から既設の野戰病院へ運んで行く代りに、病院そのものを現場へ移動する方法である　この移動病院は、人員五名乃至十名を收容し得る輕金屬性の折疊み式バラツクで、それには軍醫、看護婦、醫療器具及び醫藥等が附屬してゐる、普通、この建物が三十二棟で一組になつて居り、それらは十六臺のトラツクに積載され、八臺のトラクターで運搬される　その各棟の組立ては僅か二、三時間位で出來上るので、ポーランド進攻の際には非常な好成績を收めベルギー、オランダ攻擊にも、大に活躍した

## 雨に"狂ふ"樂器
### 濕氣が一番禁物
▼……和樂器洋樂器の保存法

樂器に濕氣大禁物、樂器はすべて入梅になると狂を生じますから、濕氣を出來るだけ防ぐことが必要であります

‖和樂器‖

三味線　和樂器では最も大衆的な三味線、三味線の皮は續飯で張つてあるので、何處か一方の續飯が濕氣のために弛んでくると張力の平均が破れて皮が破れます、梅雨のときが一番あぶない時です、破れないまでも濕氣を喰ふと皮は弛んできますから、充分乾燥させて置かないといけません　使はない時は日本紙で袋を作つて覆せておくのが一番簡單で効果があります、紙袋は十日に一回位外して火に焙つて乾燥させることで、さうすれば袋が濕氣を吸收しますから三味線の皮は大丈夫です、そして出來ることなら桐箱に入れて茶の間のやうな乾サウしてゐる部屋に入れておきます

△　△

▲…琴　は裏の接ぎ目の所の膠が濕氣のために弛んで溝の出來ることがあります、これを放つて置くと音の調子が狂ひます、また龍古の卷繪をした木が剝がれたりしますからなるべく火の氣の多い部屋に袋に入れて置いておくことです

‖洋樂器‖

ヴァイオリン　絃樂器のうちヴァイオリンは特に高級なものは梅雨中は目張りをして金屬の箱に入れて全然使はない位にします放つておくとフインガーボールドが剝げることがあります、これも紙袋を作つて覆せておくといいのです　ギター、ウクレレ、マンドリン等も紙袋を使ふのが一番よく時々乾いた絹布で拭くことも必要です

△ピアノ△　ピアノは火鉢にタドンを一つ位入れて下の方に置いてやるとか、二燭位の電球を內部に入れてやるのもいゝ方法です、殆んど木製ですから濕氣を喰ふと動かなくなり、これを無理に用ひてゐると調子が狂つてしまひます、キイの重い輕いが出來た時は濕氣を含んでゐる證據ですから梅雨が明けたら整調しないといけません

## 洗濯石鹼の見分け方は？
### これから毎日の肌着洗濯

×……これから汗をかきますから肌着などは毎日のやうに洗濯をしなくてはなりませんが、それには石鹼の品質をよく知ることが第一に必要です、そこで見分け方を申し上げませう

（粉末石鹼は）

一、別々に同じ量を溫度も同じ水に入れて泡立てます、その泡が小さくて多い石鹼ほど上質です

二、手で觸れますと普通冷たく感じますが、ひやりとした觸感の強い石鹼ほど混りものが多いので、こんなのはよろしくありません

三、番茶に入れて暫くしておきますと、色が濃くなりますがその色の濃くなるもの程質が惡いのです

四、嘗めてみて刺戟の強いものほど惡質の石鹼です

（固形石鹼は）

一、包裝のパラフイン紙が乾いてゐて白くカラカラになつてゐるやうなのは遊離アルカリの多い石鹼ですから質はよくありません

二、反對に包裝紙に多くの油がついてゐるものは脂肪が多いためですからこれも質の惡い石鹼です、なほこの外粉末石鹼と同じ方法で見分けることが出來ます

## 貴女の魅力は「眼」にある！
### 疲れた眼の應急手當

×…夜が短かくなるにつれて暑さに寢苦しい夜がつゞきます、夏はとかく睡眠不足に陷り易いものです、そして睡眠不足がまづ現れるのは眼です、魅力の中心となる眼が充血したり濁つてゐてはどんなに美しくお化粧しても映えません、そこで若し充分に眠れなかつた翌朝は應急策として眼の疲勞を解消する方法をとらなければなりません、それには第一に、洗眼、第二に眼瞼のマッサージです

×　×

×…洗眼　は二パーセントの硼酸水を脫脂綿につけてひたひたと輕く叩くやうにすればよくこれを續けて行へば眼の充血を回復しものもらひなどの豫防にもなります　マッサージはたるんだ眼に張りを與へるのに最も効果的な方法で、まづスキンフード（コールドクリームを代用しても結構）を上下の瞼につけ、食指と中指とを使つて、上瞼を眼頭から眼尻へと擦り、下瞼も同樣にします、次に眼尻を惹ひきつてこめかみの方へ吊上るやうにします

×…なほ　充血のひどい時は硼酸水に浸したガーゼ又は脫脂綿を眼の上にあてゝ、五分乃至十分間位靜かに眼をつむつてゐるのも結構です、急に眼を美しくしようとして美眼藥を用ひるのは一時的には効果があつても癖になりますから、また却つて眼の光澤を失ひ易いので、餘りおすゝめ出來ません

## ワイシヤツは　よみがへる
### 涼いロンパースに

衿や肩が切れてしまつたり何となく垢じみて着られなくなつたワイシヤツは、木綿物ならば前掛や、雜巾にしますが、富士絹やベンベルグなどむざむざ切つて了ふのは惜しいので、色のごく褪めたものは簡單に地染してから小さい子供のロンパースや遊び着を作つてやります　子供は一日で眞黑に汚してしまつて、殊に夏は汗をかきますからどんなものでも數さへあれば、まめに洗濯しては取替へてやると衞生上にも大そう結構です

## 家庭の科學　染料と色の基礎知識

×…近頃はステープル・フアイバーや資源愛護の意味で古物の更生が盛んに行はれてゐますが染替などをする場合には「色」が基礎になるのですから×色と×色とを混ぜれば×色になるといふことを先づ知らなければなりません

×…私共の周圍には二千種に近い色がありますが、これらの色は結局三原色即ち赤、黃、青の複雜な混合色にすぎません、從つてこの三原色さへあればどんな色でも出來るわけです、染料も純粹ではありませんが、やはり赤黃、青を三原色としてあつて、これをそれぞれ混合すれば次のやうな色が得られます

▽赤と黃……橙
▽赤と青……紫
▽黃と青……綠

この橙、紫、綠三色を第二次色といひ、この第二次色を更に二つづゝ加へますと、その分量の加減によつて各種の暗味ある色、例へば茶、紫紺、鼠系統の色が數知れず出來ます

▼紫と綠……オリーブ色
▼紫と橙……赤褐色
▼綠と橙……錆金色

×…三原色を同量づゝ混合すれば黑ないし灰色となりますが、赤に綠、黃に紫、青に橙を加へても黑らしい灰色になります、これは三原色を混合したことになるのです、また色を多少暗くしたいといふ時は原色を少しかければいゝのです

## 赤ちやんへ脫脂乳
### その造り方

牛乳をのんでゐる乳幼兒が、消化不良をおこすと厄介です、牛乳には脂肪分が相當に含まれてゐるので、消化が惡くつて下痢の度がますます強められるからですこの場合、醫師は脂肪を除いてある脫脂乳を與へるやうに命じますが、わざわざ特別に脫脂乳を牛乳屋に注文する必要はありません　低溫殺菌牛乳は壜の上層にドロドロしたクリーム層がありますが、この部分をストローで吸ひとつてしまへば、殘つた牛乳はすなはち脫脂乳となります

## 御飯の腐敗
### お櫃の蓋の問題

夏は御飯が腐敗しやすいためにお櫃の蓋をとつておく家庭が少くないやうですが、實驗の結果によると却つてこれは腐敗が早いさうです、お櫃を充分に乾燥させておきます、御飯をうつすときに更にお櫃を火の上であぶつてから御飯をうつし、その上から乾いた布巾をかぶせてぴつたりと蓋をしておいた方が永く保ちます、スダレですと黴菌が浸入して腐敗を早めるのです

## 危險ですよ　"甘く冷たい物"
▼……子供の齒の衞生

冷たいものが欲しいシーズンに入りましたが、齒の衞生上から、極端に冷たいものは子供たちには是非共避けさしたいものです

冷たいものや、熱いものは、健康な大人の齒でも相當にしみるものですが、殊に齒の完全でない子供には一入その感があります、まづ齲齒のある者ですと、齒髓炎を起し、更にこれが昂じますと齒髓壞疽といふ病氣にもなつてきますと、これらは食事時直に起るばかりでなしに、時として晝間食事してその時は何んでもなく夜中になつて突然猛烈に痛み始めることもあります

又ぶつかき氷のやうな固い冷たいものを齧ますと琺瑯質を破壞する處もある上、第二次的な病氣…即ち表面は健康な齒に見えてゐて、中では齒髓疽又は齒槽膿瘍を起してゐて更にそれが子供に率の多い骨膜炎や骨髓炎などの原因となるのです、猛烈な痛みを感じますが醫師の手で齒髓穿孔をすればすぐ痛みが去り、又壞疽は持續的ないたみがあるが、齒を叩いて見れば痛みを覺えるもので、應急處置としてはアン法を行つて化膿を速かに進ませることです

×　×

かやうな譯ですからぶつかきのやうな固い冷たいものや、或はアイスキヤンデイのやうに糖分を含んだ冷たいものは、齒の衞生などからいへば、出來る丈け避けるやうにしていただきたいものです、與へるのでしたらぢかでなしに、氷で冷したやうなものを成るべく與へて欲しいものです

## 醬油のカビは　辛子粉で防ぐ

暑くなつてうつかりすると醬油にもカビが出來ますがこれを防ぐには八立入の樽詰や罐詰には食匙一杯二立入の瓶詰にはその四分の一量の辛子粉を淸潔な布に包んで入れますと辛子の油が上層に浮かんでカビの生えるのを防ぎ味も惡くなりません。一旦カビた醬油は布を二重にしてこし、六七十度に熱して火から下し醬油一升に對し味リン盃一ぱいを加へますと再び元の甘さを取戾します。火にかけた時沸騰させると著しく香味を失ひます

## 料理の獻立　豚肉のキヤベツ卷

スキヤキ用に切つた豚肉をシヤウガ醬油の中に浸けて置きます、別にキヤベツの葉をゆでゝ太いシンを拔き一時間半乃至二時間位浸けたのち肉を取出し、しぼつてキヤベツで卷き楊枝で止めます、蒸し釜に入れて蒸しコセウを多少まぜたオロシ醬油につけて戴きます

娛樂

# ハイキングが好きな新スター

松竹京都が大々的に開始した新女優募集に殺到せる無慮數百名の應募者中より逸早く發見された美島麗子は種々のテストも見事にパス、一躍して目下星組〝腰元物語〟に大河三鈴、銀座環と共に主演してゐるが、眞摯な態度、温和な性質美しい容貌は身にいいてゐる經驗と共に天晴れ明日の大スターとして洋々たる前途を約束させてゐる、身長五尺一寸、本年二十一歲、趣味は多方面に亘つてゐるがハイキングが好きと云ふ近代娘である

# 溢る、詩情！
## 遂に半島映畫傑作を生む
## 賞すべき八木保太郎の脚本

### 新映畫評　授業料

「之」は半島映畫初つて以來の優秀作であり半島映畫の最高峰を占めるもので日本映畫ベスト・テンの上位に入れられ得る佳作である、之は脚色に八木保太郎を得たことが、その成功の大半を占め、名前は脚色でもその實は殆んど八木保太郎のオリヂナル・シナリオと言ふべきであり先づ八木のアレンヂメントの巧みさが功第一級として推賞さるべきもの、主人公を貧苦の境遇に置き乍ら、而もこよなく人生を愛し人間を愛さうとする作者の温さがにじみ出てゐる子供の生活描寫や朝鮮の風俗、風物の描寫は淸水宏の「風の中の子供」や「子供の四季」同樣な淸冽味があり、人の心の温かさを通じて「貧しき人々」の生活さへ描いてゐる點、見てはゐないが「綴方教室」を遙かに凌いでゐるのではないかと思ふそれ程彼等の貧苦の生活はまざまざと描寫され實感が伴つてゐる

「此」の種の映畫の陷入り勝なセンチメンタリズムやそれと又逆なわざとらしい明るさに誇張されず子供らしい氣持が極く自然ににじみ出てゐる、良心的な製作者の努力が實を結び半島映畫に之程の藝術作品が生れたことは喜びに耐へない

「榮」達（鄭燦朝）は頭が良くて優等生であるが、家が貧乏で授業料が納められない、學校は樂しいが授業料を納める日は此の上なく辛い、今度で四度目の滯納で榮達は遂に學校を休む、その中屑拾ひをしてゐる榮達の祖母（卜惠淑）は病氣となり終には食ふ米さへ無くなり榮達は祖母に飯を食はせるために自分は絕食する、ある日受持の田代先生（薄田研二）が訪れ授業料にと金を置いて行くがその金も家賃として家主にやつてしまはなければならなかつた「先生に濟まない」と祖母は窮餘の策六里も離れた叔母の所へ金を貰ひにやる、その金で授業料を拂ひに行くと先生は「貧しいことは恥かしいことではないのだ……」と激勵し乍ら級友一同の友情の結晶である友情箱を榮達に出して見せる、家へ歸つて見ると父からの手紙が待つてゐるそして軈て田舍廻りの行商に出てゐた懷かしい父母が歸つてくる

「八」木が單調を避けるために榮達と首席を爭ふ女生徒貞姬（金鐘一）や榮達一家にやさしく救ひの手をさしのべる貴蘭（金信成）と言ふ娘を出して快よい抒情味を盛つてゐるあたり「子供の四季」なぞと較べてはるかに異色があり實に巧みな構成ぶりである生活描寫の點から見ても貞姬をやはり貧乏な傘直しの娘とした事は成功してをり最初反目しあつてゐた榮達と貞姬とを燃し木拾ひで對立させ乍ら、めだか掬ひで打解けさせるあたり子供同士のほのかな戀情を感じさせ、田代先生と美しい貴蘭との間にもその樣なほのかな抒情味が漂つてゐる

「唯」それまで對立してゐた榮達と貞姬とが、めだか掬ひで打解ける件りはもう少し精細な心理描寫があつて良くあれでは唐突で說明不足の感、六里の道を榮達が叔母を尋ねて行く場面も優れてゐる、空キャラメルを投げられて開けて見て口惜しがる所は原作にあり、それが巧みに生かされてゐる、あの道中はもつと長くても良かつた位、一寸しか顏を見せぬが金魚賣り、牛車夫、郵便配達、家主その他メダカ、羊、金魚等がさり氣なき中に有効に使はれ快よい雰圍氣を生んでゐるのが目立つ、野外のシーンが多いのも氣持良く季節感が溢れてゐる

「ラ」ストの結末を父母の歸鄕で結んでゐるのも親子の氣持が滲み出てゐて良い、俳優は主役の少年俳優鄭燦朝が素晴らしく薄田研二も良い、祖母役の卜惠淑はうまい乍ら年の若さが氣にかゝり、貴蘭の金鐘一は美しく俳優陣は一體に好調である、文藝峰は一寸顏を出すだけであるが、良い感じを出してゐる李明雨のカメラも良く、演出（方漢駿、崔寅奎）はカットの積み重ねに不手際がある他は先づ上乘、上半期の映畫の中で一番感じさせられた映畫、しみじみした子供の頃への鄕愁的な懷かしさを感じさせられる、二十八日より長春座封切、寫眞はその一場面【萱】

## 第一協團初公演
### 新築地劇團が應援

第一協團は七月廿三日から一週間築地小劇場で間宮茂輔原作、八田元夫脚色演出「鯨」（四幕）の第一回公演を行ふが特に新築地劇團が應援出演する

# 南海のアロマに〝ラムーア〟の人氣
## 再び海女で半裸體の新作

『ハリケーン』で賣出したドロシー・ラムアーは藝よりもあの半裸體が賣もので、それを見たいばかりにファンが雲集するのを見てとつた會社では『ジャングルの戀』その他の出來るだけ彼女の肉體美を見せる映畫の製作に努力して來たが、最近になつてそれにふさはしい原作が見當らなくなり、つひにかつてギルダ・グレイが主演した『南海のアロマ』をラムーアに再びやらせることゝなつた、この映畫はグレイが同じく半裸體の姿を見せた海女の物語だが、裸美人ラムーアにうつてつけの映畫なので早くも鼻の下の長い連中の間の噂話になつてゐる、裸のラムーアの怖るべきイットよ、である【寫眞はラムーア】

## 〝民族の祭典〟果然好況！

東和商事提供の待望オリンピア映畫「民族の祭典」は十九日より邦樂座に日本披露公開されたが當日は一階席に傷病兵を招待、二階三階は開館忽ち客止めとなつた、なほ二十八日迄の前賣券も殆ど賣切れの盛況である

## 〝內田吐夢氏〟への私信（上）
宮川讃

### 「歷史」第一部を見て

冠省
待望の〝歷史〟見せて戴きました。但し〝第一部戌辰動亂〟だけでムいます

私は豫め脚本を讀まして戴いて、相當この映畫がコチ〳〵になるんではないかと思ひましたが、愈よ映畫を見ると流石は先生と今更乍ら尊敬の念新なるを覺えました

〝歷史〟が日本では興行成績が擧らなかつたとの事、先生も定めし御落膽の事と存じます。然し、先生は〝愛染かつら〟をねらひ〝白蘭の唄〟を得々として作りはしないでせう

〝歷史〟が物語る吾々先代のことは、大和民族が或る殼から脫する一つの革新期を描き恰度、現今東亞諸民族が立ち上る示唆を以つて二千六百年映畫たる意義を表示したものと私は解釋します

藩主は絕對的尊重と言ふ大和民族特有の所謂武士氣質から、時代の敵となり戰亂に轉々とする武士達、その中の一人を中心にして四國は殼を破つて變遷する。即ち、一藩の武士は大日本黎明期の國民に還元される。恰度、大日本帝國一國民が今次日支戰爭に於いて東亞の一蕃保となると同じ意義ではないでせうか？

明治維新に於いて藩と藩との爭ひがどうであつたにせよ諸民草は忽ち大きな目を以つて日本を覺り吳越同舟八紘一宇の大道を踏み出したのだと言へませう

# 東寶、悅ちやんもう、一人前
## 子役總計一一四名

映畫法施行規則第十一條により各撮影所が內務省へ屆出た子役は總計一一四名（松竹五二、日活二四、新興二一、大都一〇、東寶五全勝、極東各一）であるがこのうち早くも大人（滿十四歲以上）になつた子役には飛田喜佐夫、藤下照子、日高松子、加藤照子、木村欣一、御和枝、香月美子の七名があり東寶の悅ちやんもこの二十一日で滿十四歲になるので早くも一人前並に登錄の手續きをとつてゐる、なほ子役中兄弟姉妹仲よく働いてゐる子役は左の如く七組もある

日高竹子＝同梅子、長船タヅ子＝同フジヨ＝ヤヘコ、彌生照子＝角秀夫、花園花子＝同月子、池廣一夫＝池廣鴨、小高まさる＝同たかしの他双子の小杉和子＝同照子がゐる

## 〝みかへりの塔〟愼重

大船清水宏監督の新作、熊野隆治、豐島與志雄共作「みかへりの塔」の映畫化は同監督以下一行十名のスタッフがみかへりの塔の所在地大阪府立修德學院の年一回の第十二回「母の日」を見學と共に撮影したが清水監督は更に殘留して研究を續けてゐる

## ニュース問題圓滿解決

大日本映畫事業聯合會の日本ニュース不上映問題は聯合會側が未解決のまゝ第一號の特別上映を行つたが更に根本的解決につき聯合會では不破文部社會教育官、渡邊、中村兩內務事務官立會の下に日本ニュース代表と懇談の結果圓滿解決の曙光を見るに至つたので一切を白紙に還元し廿日更めて映畫五社の營業擔當重役並に營業部長が日本ニュース側と細目折衝の上廿一日兩者共同の解決聲明書を發表することになつたからこれで揉み拔いたニュース不上映をめぐる係爭も圓滿決解を見て日本ニュースは各社系統館にも公開されることになつた

## 松竹來月の文化映畫陣

松竹では七月封切の文化映畫陣を左の如く決定した

（一週）柳宗悅、式場隆三郎監督、猪飼助太郎撮影「琉球の民藝」（二週）丹生正構成、鈴木隆一撮影「馬の徵兵檢査」（三週）柳宗悅、式場隆三郎監督、猪飼助太郎撮影「琉球の風物」（四週）太田皓一監督、中村誠二撮影「砲擊」（五週）林龍指導、日向清光構成撮影「拓る大陸」

# 滿洲國皇帝陛下 ═奉迎の夕═

後九・一五 長唄「時雨西行」唄…吉住小三郎外 三味線…稀音家淨觀外 上調子…稀音家和三郎

「行衛定めぬ雲水の、行衛定めぬ雲水の、月諸共に、西へ行く「西行法師は家を出て、一所不住の法の身に、吉野の花や更科の、月も心のまにまに、三十一文字の蹤修行、廻る旅路も長月の、昨日と過ぎゆきて、都の後に時雨月「淀の川舟行末は」

「鵜殿の崖のほの見えし、松の煙の波寄する江口の里の黃昏に、迷ひの色は捨しかど、濡る時雨に忍びかね、賤の軒端にたゝずみて、一夜の宿を乞ひければ「主と見えし遊女が情なぎさのことわりに波に漂ふ捨小舟何處へ取つく島もなく「世の中を厭ふまでこそかたからめ假の宿を惜しむ君かな、と口吟みて行過るを「なうなう暫しと呼留め「世を厭ふ人とし聞けば假の宿に心とむなと思ふ許りに其れ厭はずば此方へと「云ふにうれしき宿網む一樹の蔭の雨宿り一河の流れの此里に、お泊め申すも他生の緣、如何なる人の末なるかと「問はれて包むよしもなく「我も昔は弓取の田原藤太が九代の後葉、佐藤右兵衛尉憲淸とて鳥羽の帝の北面たりしが、飛花落葉の世を觀じ弓矢を捨てて墨染に身を染なして法の旅「アラうらやまし我が身の上父母さへもしら波の、寄する岸邊の川舟をとめて逢瀨の波まくら世にもはかなき流の身「春の長に花咲いて、色なす山の粧も夕の風に誘はれて秋の夕に紅葉して「月によせ雪によせ問ひくる人も川竹の憂臥しげき契りゆゑ是れもいつしか枯れ枯れに人は更なり心なき草木もあはれあるものを「或時は色に染み貪着の思淺からず、又或時は聲を聞き、愛執の心いと深く是ぞ迷ひの種なりや「實に實に此は凡人ならじと、眼を閉て心を靜め見れば不思議や「今迄ありし遊女の姿忽ちに普賢菩薩と現じ給ひ「實相無漏の大海に、五塵六欲の風は吹かねども隨緣眞如の波の立ぬ日も無し「眼を閉けば遊女にて「人は心を留めざれば、つらき浮世も色もなく、人も慕はじ待ちもせじ、又別れ路も嵐ふく花よ紅葉よ月雪の、ふりにしこともアラよしなや「眼を閉れば菩薩にて異香の薰糸竹の調「六牙の象に打乘りて光明四方に輝きて「拜まれ給ふぞ有難き拜まれ給ふぞ有難き「西行法師が生身の、普賢菩薩を、拜みたる「江口の里の雨宿り空に時雨の故事を、此所にうつしてうたふ一節（元治元年九月開曲）

## 講演……後七・四〇… 國際政局に對する所感
安達謙藏

先づ最初に今次の歐洲戰亂は前の大戰と事情が異つて居り獨逸の用意周到な作戰の前には英國が如何に單獨抗戰を叫んでも其の勝敗の數は既に決したものと見てよいといふ事を述べる

次に日米關係は現在の如き消極的でハレものに觸はるが如き態度では駄目だ、禁輸恐るゝに足らず海軍大擴張大に歡迎だといふ積極的態度に出で、それでも米國が日本に對する認識を是正しない時は自づと他に途があり、其の途に從つて進まなければ支那事變處理も興亞建設も出來ないといふ事を話す

蘭印問題にせよ佛印問題にせよ、苟くも東亞新秩序維持に支障ありと見た時は何等躊躇逡巡せず大なる覺悟と決心とを以て果敢邁進すべき事を述べる

## ラヂオ　けふの番組

### あさ

六、〇〇（新京）建國體操
六、一八（大連）入港船のお知らせ
六、二〇（東京）ニュース
六、三〇（大連）初等滿洲語講座　幸勉
六、五九（東京）時報（新京）天氣豫報
七、〇一（奉天）朝の修養「老子と國民思想」（二）守中清
七、二〇（新京）朝の音樂（レコード）管絃樂一、ホフマンの舟唄（オッフェンバック作曲）二、ブルー、ダニューブ、ワルツ（ヨハン、シュトラウス作曲）三、コッペリア舞踏曲より（イ）機械人形の踊りと圓舞曲（ロ）チャルダス（ドリーブ作曲）王立フィルハーモニック管絃樂團（指揮）ワインガルトナー
八、〇〇（新京）建國體操
八、二〇（新京）氣象通報
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東、奉）經濟市況
九、五〇（齊々哈爾）幼兒の時間 ウタアソビ「戰爭ゴッコ」齊々哈爾第二幼稚園々兒（指導）金崎はなみ、平山きみゑ
一〇、〇五（新京）家庭メモ
一〇、一〇（新京）料理獻立
一〇、五〇（東京）皇帝陛下横濱港御着御模樣
一一、二〇（東京）皇帝陛下東京驛御着御模樣
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

### ひる

〇、〇一（奉天）經濟市況
〇、〇五（東京）和洋合奏 一、接續曲 日本俗曲集 二、意想曲 水鄕巡り 三、意想曲 田植祭 ミタニ、和洋合奏團（指揮）大和田由松
〇、三〇（東、新）ニュース
一、〇五（東京）經濟市況
一、五〇（奉天）經濟市況
二、五五（新京）氣象通報
三、〇〇（東京）婦人の時間 時局社會見學（錄音）
三、二〇（東京）經濟市況
三、三〇（東京）敎師の時間 學校放送講座（三）「學校放送と小學敎育改革問題」海後宗臣
四、〇〇（東、新）ニュース
四、三〇（奉天）經濟市況

### よる

六、〇〇（東京）子供の時間 ラヂオヴアライエティ「蘭の香」大木惇夫、作 奈良島知堂、他（合唱）日本放送合唱團（伴奏）東京放送管絃樂團（作曲、編曲 並指揮）山田榮一
六、二〇（新京）コドモの新聞
六、二五（大連）趣味講演「滿洲美術と畫家の精神」福田義之助
六、五〇（新京）國民メモ
六、五五（新京）カレントトピックス
七、〇〇（東、新）ニュース（新京）告知事項、今晩の番組
七、三〇（新京）講演「全滿建國體操會實施に付て」滿洲帝國協和會中央本部實踐科長 熱田基
七、四〇（東京）講演「國際政局に對する所感」安達謙藏
八、一〇（東京）滿洲國皇帝陛下奉迎の夕
九、三八（東京）…國歌君ケ代…滿洲國國歌
一、講演「滿洲國皇帝陛下の御來京を迎へ奉りて」陸軍大將 菱刈隆
二、獨唱合唱と管絃樂交響曲「蘭花奉頌」佐藤惣之助謹詞、片山穎太郎謹曲「滿洲國皇帝陛下奉迎歌」一、聖駕奉迎 二、迎御英姿 三、蘭花香し 四、アジアの榮光（獨唱）日本加古三枝子（合唱）日本放送合唱團（管絃樂）東京放送管絃樂團（指揮）片山穎太郎 三、詩吟「滿洲帝國皇帝ノ御來遊ヲ奉迎シテ」他五篇 山田積善 四、ラヂオ風景 五、長唄「時雨西行」河村其水作詞、二代目杵屋勝三郎作曲（唄）吉住小三郎、吉住小三藏、吉住小太郎（三味線）稀音家淨觀、稀音家六治（上調子）稀音家和三郎
九、三九（東京）時報、ニュース、ニュース解說、御訪日特信（新京）ニュース、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（謠曲）

# 身邊雜記

三谷善衞

一、音と活字

先日暇にまかして吉川英治氏の「宮本武藏」を讀んだ。新聞連載中は分量が少ないのと、毎日々々氣がつかないし、なか〳〵讀み通すことは困難なので、たゞ評判だけを聞いて一度讀んで見たいものだと思ひつゝもその時間がなかつたが、旅行のつれづれについ一册借りて讀んだのが病みつきで圓本八卷を讀んでしまつた。勿論、あの本だけでのものでは、餘り興味も根もつゞかないのであつたであらうが、偶々五六卷がぽつぽつ配布されつゝある時、ラヂオ小說として此の宮本武藏が取り上げられ、その後飛び〳〵ながら二十幾回となく連續的に放送されたので、配本とラヂオ小說が殆ど平行的にふり撒かれ我々に兩方の興味をそゝつたから、ついウカ〳〵と武藏病にかゝつてしまひ知らず〳〵の內に「此度のラヂオ小說はこの邊を讀んでゐる、依つて本の方はまだまだ來月中旬に配本されるのであるから次は本の方が先行する」「さうすると、次の船島の決戰はどう云ふ風に小次郞は武藏にやられるか?」といふ風に、なんだかラヂオと本屋がタイアツプして「宮本武藏」の宣傳に使つてゐるのではないかとさへ思はれた。果してそれがタイアツプ宣傳とすれば、之れはまことに上手な手ぎはよいラヂオ廣告放送ともいへ大いに稱讃さるべきであらうとさへ思つた。

實際はラヂオも配本もともに偶然であつたらしく、ラヂオは本の賣行きや、吉川氏の提灯もちといふ樣な考へもなく、ドン〳〵放送時間が取れる範圍で、又出演者の都合次第でこの永い連續物を八卷目の出ないまでに放送修了してしまつたのであつた。

お通の多く出る場合には夏川靜江や、村瀨幸子を出し、地味な、澁い場面或は又八の時には德川夢聲に代らし、その他は殆ど市川八百藏が獨り舞臺で、全く武藏になり切つて放送してゐたのである。

こゝでおもしろいことは、この新聞物であり吉川氏近來の快作である宮本武藏もおもしろかつたといふ點では、ラヂオ小說の方がすぐれてゐた樣に思へたのである。即ち音の方が活字より數段優れてゐたのに氣がついたのである。

耳から來た、船島の小次郞との決戰は、實にあざやかな音響効果と、八百藏の熱のある會話で、痛快この上もない大團圓であつたが、本から受けた、活字にあらはれた最終回は、二三度讀み返しても、別にラヂオから受けた程の迫力がなかつたのである。それ故に自分は終りの五六十枚を三度ばかり、それこそ一言一句、丁寧にラヂオのこうふんそのまゝの氣持ちを持つて讀んだのであるが、どうもピツタリと來なかつた。八百藏はあの吉川氏の原作を改編したり、字句を一語たりとも變更せず、眞に、忠實に、そのまゝ通讀してゐたので今原作を讀むにつれて、八百藏のあの時の會話がハツキリ、今更の如く耳から目に響いて來る樣に覺えて來るものゝ目から受けた感じはどうもラヂオ小說で聽いた程の優れた感が出なかつたのであつた。

要するに、夢聲の話術、八百藏の會話は全く立派な藝術的存在であつて、ラヂオ小說といふ一分野を創造し完成し得たものと思はれるのである。

曾てAKの和田といふアナウンサーが「三四郞」を放送して全くラヂオ物語、小說に大きい地盤を築き上げ、表現の世界に別なこの種の音に依る會話に依る表現を挿入し得た功績を特殊な人々は認識し新たな發見として驚いたのであつた。

ラヂオが持つ機能を簡單に考へる人々は、目から注入する樣な強い力もなく、空氣の樣な存在であるラヂオ電波で、何にが出來るものか、どうしても人々の胸を眞實に打つ作品、或は表現は色彩的感覺から訴へる所の目と耳との兩方面からでなくては又具體的な形に依つてゞなくては到底不可能とされてゐたのであつたし、又それ以外には手がないと思はれてゐたのであつた。

近々二十年足らずして、今日まで發展するとは豫想しなかつたラヂオが、高度の藝術味と、豐富な經濟とを土臺として我々の狹い家庭內に、最高の技術を以て浸透せしめ充分味覺し得られるまでに進步したのであるから、多くの人々は或る點まで驚き、舌を卷き又ラヂオ藝術から得るもの、又これを利用せねばならぬ時代と將來を考慮の中に入れねばならぬのではなからうかといふ事に氣がつくのである。

吉川氏の武藏を一言一句そのまゝ口と音とに依つて活字以上に耳へ傳へたラヂオの力は、決して看過すべきではなく、如何なる作者又如何なる作品に於ても今後この世界、このラヂオの偉力といふものを充分考慮においてなさるべきは最も賢明なるやり方ではなからうかと宮本武藏を讀み終つてこんなことを考へた。

# 學藝

## 母の斷想 (四)

泉　徹雄

弟は待ち構へてゐたやうに、わつと顏一杯皺にして泣き出した。そして泣聲の中から、「お父ちやん、お父ちやん!」を呼び續けた。其の時だけは、母が居たせいもあるのか、祖父は飛んでは來なかつた。

「どうしてお前は泣かしたの?」と母が言つた。そして「馬鹿だねえ」

私は自分の心を見すかされたやうな羞恥を感じ、母の顏を見上げる事が出來なかつた。

間もなく、私と母とは床に入つた。私は體一杯甘い幸福に包まれた。

母と二人きりの生活は、私の本能的な願ひでもあつたのである。

私は母に話しかけるでもなく、唯無性に興奮して、なか〳〵寢つかれなかつた。私は母の懷に面を埋めて乳房をぢつと握りしめたい欲望に驅られ乍らも、もうそれが恥しい年頃になつてゐた。そこで、仰向けに寢て、眼をつぶつて息を殺した。

暫くして、母はそつと起き上つた。そして私の鼻先に手を出して私の寢息を伺つた。私は眠つた振をしてゐたが、不思議な事をするものだと思つた。がそれは嬰兒が寢入つた時に母親のする、無意識な母の愛情の現れかも知れなかつた。

母は私が眠つてゐると信じたらしく、寢衣の儘、靜かに障子を開けて外に出た。

私は何かしら本能的な不安を感じた。しかし最初は便所にでも行つたのかと思ひ、ぢつと歸りを待つて見た。が、いつ迄たつても母は歸りさうにないので、恐しいものを見るやうな氣持で母の後を追つて庭に下りた。

田舍の家は一般にさうであるが、祖伯母の屋敷も、四面竹垣をもつて、劃然と隣地との境界を造つてゐた。

少し更けると、田舍の夜は不氣味な程靜寂である。月はなかつたが、嘘のやうに星が多かつた。

便所に母の居ないのを見定めると、私はすぐ裏庭へ廻つた。

竹垣の蔭で　白い洋服を着た丈の高い男と、寢衣の儘の母が、何かひそひそと囁き合つてゐる樣を見つけると、適中した豫感に、私は硬直したやうに足を停め「あれ!」と鋭く呼んだ。

母は驚いたやうに振返つたが、私に氣づいたと見え靜かに步み寄つて來た。

私は引吊つた表情の儘、「あれは誰だ!」と指さし乍ら詰問した。

「椎葉さんよ。」

「何しに來たんだ!」

「何しにつてお前?……」

母はありありと困惑の表情を浮べた。そして、嫌惡するやうな眼附で、

「一寸用事があつてこちらに來られたのよ。今夜はこんなに遲いから一緒に泊らしてやらうね?」

「嫌だ!」私は最初の瞬間から、いまはしい聯想に興奮して吐き捨てるやうにきつぱり斷つた。

「そしたらお前、こんなに遲く椎葉さんを、歸らせるのかい?」

「そんな事は知らん!」

「お前は遠い所迄椎葉さんを歸らせてそれで、可哀想には思はぬのかい?」

「そんな事は知らん!」

椎葉の家は隣村で、その三、四年ばかり前に妻を失つたのだが、子供が三人も居る身である。椎葉と母との關係は、近邊の口さがない噂の種になつてゐる事を、私も薄々知つてゐたので、たまらなく不快を覺えた。

## 夏と女

大川　進

大陸の夏がやつて來た。私は、恰度まる三年の夏をこの新京で迎へることになつたが、夏が來ると、よく目につき出すのが、わけても若い女の服裝である。その方面のくわしい知識を持たないわれわれが、あまり兎角の批評をすることは差控へたいが、率直に言へば、このごろの日本の若い女にはたしかに日本女性特有の奧床しいセンスか磨滅しかけてゐると思はれるのだ。あの街頭にみかける安つぽい下司つぽい煽情的ないでだちを、それと自ら氣のつくだけの敎養性が、大抵の彼女らのインナーライフからとつくになくなりかけてゐることは、このごろのあらゆる事實らしい。私はひそかに憂ひ悲しむものだ。暑い時、輕便な服裝、かんたんな身仕舞こそは充分に考案さるべしだが。然も外出時は世間の顏、社會の中だ。禮儀や體裁は形式を離れてその心の表はれである時尊い。その心の表はれが、猫も杓子もをかしなアメリカ式?の流行を追つて、街頭を濶步することは、寒心に堪へない。心の値打ちは必ず表に形となつて現はれるものであることを日本女性よ知つてゐるか……

## 新聞について (一)

松永　浩

朝起きると先づ新聞である。一應新聞に目を通さないと落つかない。われ〳〵は、新聞によつてひた〳〵と押寄せる社會の波を門邊に感じてゐる。今の時代は世界史始まつて以來の最も大きな時代である。

日々の新聞に出る世界の出來事、社會の出來事を重大でないとは考へない。

日々の新聞記事はそのまま大きな歷史である。しかし、日々の記事になる出來事も、長い月日が立つて、パースペクテイヴがはつきりすると、おのづからそれぞれ列序の中に組込まれ、そのたくさんの出來事は今日われ〳〵がその出來事の瞬間々々に知るのとはまるで違つた形で、未來の歷史の流れに殘るのである。その點今日の中にゐるものは今日を最もよく知つてゐるやうで、その實は最も今日を知らないものである。

偉大な眼は、複雜な今日の出來事から未來の列序を見て取るであらうが、それにも限度がある。われ〳〵は幾年かの學校生活の中で歪められたり、ほどよく矯直された歷史を敎へられて來た。

中でもそれは日本歷史に多かつた。昔は人から人への言傳で社會の動靜を知つた。だから出來事はその人その人の言ひ方によつて形を變へられ、變へられたままの形で現代に到つた。さうしたものが歷史の衣を着て、一應はわれわれに敎へてくれたのである。

現代には、新聞、ラヂオ、フイルムがある。われわれはより正しい歷史を未來の人々に殘してやらねばならない。

いつも新聞を見て思ふことであるが、多くの人々は記事の大きな見出しに釣込まれて、その內容がどうであらうと、それを一途に大きな出來事だと考へてしまふ傾向が往々にしてある。ジヤーナリズムはそこを狙つてゐるのであらうが案外、隅の方に小さく片づけられた記事が、社會的にも大きな意義を持つた場合もある。

かう言ふ記事は大抵の人には見落されがちである。この責任はジヤーナリズムに於て負ふべきであらうか、それとも讀者の迂闊として片づけられる性質のものであらうか。

ましてや今日のやうに世界が混亂のさなかにあるとき、強烈な大きな字句が、いちはやく人々の視覺に飛びつき、その傾向が益す激しくなりつゝあることは當然のことであるが、そこにジヤーナリズムとして一考を要する大きな問題が橫たはつてゐるのではなからうか。あつたことを面白可笑しく報道すれば、それでジヤーナリズムの責任は終つたものであるかどうか。

讀者に昂奮の無理強ひをするが如き愚劣極まる記事が、朝刊に出てゐたものをまた夕刊に繰返し載せるが如き、紙面の無駄使ひは每日の如く見受けられる事實である。

## 靑き幸

高橋雅子

晝をきて海と對へば靑き幸胸うちにしみ擴りゆくも

この幾日心昂りもなくて經つ在りのままなる己れ姿かな

さらされて匂ふばかりの街ゆけば身につきて來し臭かもかなし

つきつめむ事とてなけれどこの夜ごろ誰彼を思ひ生活を想ふ

ささやかな希望といふを擲ててみつまたこの頃やたのしからむに

—アカシヤ同人、大連在住—

## 綠地帶

岩下俊作「富島松五郞傳」

これは直木賞の候補作に擧げられた作品だと聞いてゐる。尤も書いた本人は、純文學のジャンルに屬するものとして書いたものらしい。

しかしやはりこれは大衆文學として讀むのが至當であらう。それだけの融通性と卑俗性を持つてゐるのである。

或る軍人の夫人に戀した市井の無頼の徒の一生それがゆとりのある文章で描き出されてゐる。構成、描寫の腕前は相當なものと言へるであらう。

ただこれは主人公が特異な人物であるが故にこれだけに讀めるのであつて、他の作の場合にはどうであらうかといふやうな心配は持たれて來る。『オール讀物』六月號所載。（御垣衞士）

## 菅野圭介氏洋畫展覽會

菅野圭介氏の洋畫展覽會は六月二十四日より二十六日まで中銀俱樂部で開催されるが、出品目錄は左の通りである

1 花
2 モスコー風景(1)
3 モスコー音樂堂
4 殘雪
5 北海
6 ワルソー風景
7 靜物(A)
8 靜物(B)
9 南佛風景
10 モスコー風景(2)
11 モスコー風景(3)
12 フランダース古城
13 ワルソーの宿
14 山脈

## 書架

△滿洲國語（滿語版第二號）　さきに創刊號を出した本誌は本號に張漢仁「一個經驗」千種達夫「法律文章的平易化和口語化」「日本語敎科書中的二三問題」福井優「語學檢定試驗的感想」許健慕「方塊字與文化」鵙子「國語一題」「滿洲和語言（座談會）」「語學講座欄」「語學檢定試驗欄」等を載せてゐる（新京大興ビル內、滿洲語研究會、三角五分）

## 黃昏斷想

中原鋭彥

なふたりんの香を撒いて女達が行く
忘却の水族館にランプが點いた
赤い金魚も黑い金魚も
連日の砂風を忘れて泳いでゆく
私だけが生の泡沫を嚙みくだく
前も後もなんにも判らない
この重壓　この苦役
がむしやらに一ツを信じたが
悲しい歲月をどうしよう
理想を失つた詩神を忘れた
その日　その季節に
あの女は美しくなり出世をしたが
現實の喜び悲みをすてゝ
宿命にひきづられて行く者
美しい影とあの哀歡を殘して

# 居残り希望續出 白家の愛知聖鍬部隊

【北安省白家特設農場にて】開拓國策の促進と食糧飼料の増産を圖るため將來の集團集合開拓民移住豫定地たる未墾地を開墾し開拓民の入植を容易ならしめる勤勞奉仕隊特設農場班前期班中隊長礒貝一雄氏=岡崎市奥合町、愛知縣追進農場、同種畜場技師以下百九十八名(靜岡、愛知、岐阜)は去月廿七日北安省白家特設農場に到着、以來連日播種、除草、土塁構築等の奉仕作業に協力奮闘、早くも豫定の期間の半分を經過

七月廿六日後期班二百十八名(靜岡、愛知、岐阜)と交替して大連經由歸國することとなつて居るが、豫定の奉仕作業終了後も引續き同農場に居残りたいといふ青年や徴兵檢査まで敢然ふみとどまつて鍬の戰士として大陸に活躍したいと烈々たる氣概を示す青年達が續出、連日熱情あふるゝ歎願書が本部へ提出され宮本農場長や礒貝中隊長を感激させてゐる

後期班の歸國する九月下旬まで引續いて奉仕作業を行ひたいと云ふ青年二名、徴兵檢査まで此の白家農場で鍬を揮ひ將來は開拓民となつて滿洲の土になりたいといふもの一名、このほか此の儘滿洲國に踏みとどまつて滿拓或は其他へ就職して興農滿洲の一翼として活躍したいと希望するものは七八名の多きに達し、今後この傾向は益々増加する見込みで。これら興亜青年に對しては現地でも出來得る限り便宜を圖ることとなつてゐる、これら大陸雄飛の青年の叫びについて宮本場長は語る

このまゝ後期班の歸國まで残りたいといふ青年や滿洲國の農業部門勤務を希望するものの意外に多いのには驚きました、これら青年については本人の希望を十分聽取のうへ中央と連絡をとつて出來得る限り希望に副ひたいと思ひます

## 東滿部隊にも老隊員

【北安省白家特設農場にて】興亜建設の烈々たる氣魄を鍬に託して滿洲の大地に建設の奉仕作業を行ふ滿洲建設勤勞奉仕隊特設農場班礒貝中隊(愛知、靜岡、岐阜出身)百九十八名は殆んど廿歳前後からせいぜい卅歳未滿の若人揃ひだが、その中に六十一歳の老ひの身をいとはず青年に伍して聖鍬を揮ふ偉い奉仕隊員があり全隊の感激を呼んでゐる、この隊員は愛知縣幡豆郡西尾町出身杉本嘉市翁で大陸建設への燃ゆるが如き希望やみ難く郡農會を通じて中隊長礒貝一雄氏のもとへ申込み漸く許可されて勇躍渡滿したもので、若人を凌ぐ精勵ぶりには宮本農場長、礒貝中隊長をはじめ全隊員も感歎、模範隊員として全隊の師表と仰がれてをり、このほか同中隊の岩瀬八重吉氏(五五)=豐橋市岩田町=も息子さんたちの反對をおし切つてせめてもの御國への御奉公だとばかり敢然參加、これまた隊員の慈父として隊員たちの尊敬をあつめてゐる

# 先輩の遺業偲び 若人が汗の聖鍬 香川村の興亜行進

【王爺廟第七次香川村開拓團にて】郷里出身の開拓先驅者の手傳ひのため去る十九日午後一時先輩の團員、小學校兒童らの盛大な出迎へをうけ元氣一杯で香川村へ到着した勤勞奉仕隊第七次開拓團香川縣隊隊長大林傳氏(三八)=香川縣綾歌郡山田青年學校教諭=以下四十八名は本部特設宿舍に開拓地第一夜の夢を結び翌廿日はゆつくり休養をとつたがかねて新京へ出張中だつた團長森崎陽一氏が歸團したので廿一日午前十時から本部構内で盛大な入植式を擧行、愈よ勤勞奉仕の力強い第一歩を踏み出した、長らく降りつゞいた雨も奉仕隊現地着の當日からカラリと晴れわたり六月の太陽は香川村の輝く前途を約束するかの如く照りつけてゐる奉仕隊員は五班にわかれてそれぞれ十二部落の農場に向ひにじみ出る汗をものともせず早朝から除草作業に尊い聖鍬をふるつてゐるが近く三江省實踐本部から種子の送附をうけて蕎麥を植ゑることになつて居り九月までには立派に實るものと奉仕作業を終つて歸國する一同張り切つてゐる、團員に現地着の感想を聞くと

△大林隊長=全國青年團指導者開拓地視察のため昭和十二年十月大日向村の分村計畫や第三次瑞穗村第六次平馬劉を見學に參つたことがありますが、わが香川村の發展振りは想像以上でした、大連に到着の時は旅順の戰跡を實際に見て隊員一同も粛然としました、特に東鷄冠山はかつてわが郷土部隊第十一師團が活躍しだところだけに一同の感銘も深かつたと思ひます、力の續く限り頑張つて初期の目的を貫徹するつもりです

△柾木敏雄君(二一)=香川郡禮紙村=私は先遣隊として六月三日現地へ到着以來ずつと本部の清掃作業や菜つ葉の植ゑつけを行ひ十一日から先遣隊の仕事である炊事場の釜や風呂場を作つて本隊の到着を待つてゐました

△柴田忠仁君(二〇)=綾歌郡長炭村=滿洲國へ到着してみて日本人である嬉しさがつくづくわかりました、何分にもみんな同じ國のものばかりなので打ち融け合ふのも早くこんな嬉しいことはありません

△増田一夫君(二一)=綾歌郡山田村=入植以來僅か三年にすぎない香川村開拓團が想像以上に發展してゐるのを見て驚きました、家などもこんな立派なものが建つてゐるとは思はれませんでした

△龜井豐君(二〇)綾歌郡山内村=私の兄も滿洲〇〇で軍務についてゐますが、私も銃をとる兄に敗けないやう鍬で御奉公するつもりで隊員に加へて貰ひましたが、無事現地へ着いてこれから思ふ存分働くのだと思ふと胸が躍ります

といづれも固い決意の程を語つてゐるが、その雄々しい姿は家郷の親御さんにみせたい天晴れ興亜青年ぶりである

# 日露戰役の老勇士も一役 村の醫者大陸進出

【王爺廟第七次香川村開拓團にて】王爺廟第七次香川村に入植した勤勞奉仕隊第七次開拓團香川隊は隊長大林傳氏(三八)を除く四十餘名の全團員悉く廿歳前後の青年揃ひで何れも潑剌たる元氣に溢れてゐるが、この青年達にまじつて老ひの身を團服に身をかためた隊醫吉馴秀雄翁(六三)=香川縣綾歌郡法動寺村出身=の姿は人目を惹き全村の感激を呼んでゐる、吉馴翁は曾つて日露戰役に軍醫大尉として出征した老勇士で、その後郷里でながらく開業してゐた老醫であるが村の若いものたちが續々と奉仕隊に參加するのをぢつとみてをられず、敢然今回の奉仕隊の一員として隊醫を志願したもので、内原訓練所河田分所からずつと隊員と行動をともにして現地へ到着、壯者を凌ぐ矍鑠たる意氣には隊員をはじめ村人たちも感激してゐる、村の小學校の一部にある診療室に早速店びらきしてゐるが、現在村醫のゐない同村民の感謝は一入深く、廿六名の小學兒童に對して健康診斷を行ひ、一里二里離れた村からの往診の需めに應じて馬を驅つて出かけるなど開業早々なかなかの繁昌ぶりを見せてゐる吉馴氏は語る

若いものたちが奉仕隊に加つて渡滿すると聞いて私もせめてもの御奉公のため卅年ぶりに滿洲へやつて參りました、年はとつても私の身體はまだまだ大丈夫だと思ひますし果してどれだけ頑張り得るかやつて見る心算です家の方は僅か三ケ月ですから閉めて來ましたが、隊員や開拓地の皆様のお役にたてばこんな嬉しいことはありません

## 布哇勝つ 國際交驩野球

大連に於ける紀元二千六百年慶祝國際交驩競技會最終日の布哇對比島決勝戰は廿四日午後四時半から滿倶球場で濱崎(球)梅本、矢野武井(壘)四氏審判、比島先攻に擧行されたが布哇よく打ち三對一で勝つ、閉戰六時十分

比 000010000 ー1
布 001001 10A ー3

(比島) 33 3 1 1 5 6 1
(布哇) 打安犠盗振四失 34 9 0 2 0 0 3

◇三壘打 田中

## 吉林市に水不足の赤信號

松花江といふ最大無限の水源を持つ吉林市にも水不足難……吉林市では松花江の水を淨化して十五萬市民の飲料水に供して居たが、現在の設備では一日九萬人九千トンの給水能力しかなく最近の躍進景氣で日系人口の増加著しく滿系市民また續々水道を取付けるといふ盛況に現在既に九萬人給水の最大限に達し最近では水不足の際必ず起る空氣混入の白濁水が出る樣になり早くも水不足の赤信號が發せられてゐる、千年悠久の流れ松花江を控へて水不足とは一寸聞えぬ話ではあるが、これぞ御他聞に洩れぬ資材不足で給水能力を擴張しようにも手も足も出ず結局市民の自肅にまつて節水の外ない事になつた

## 時計聯合會創立

全滿時計商工聯合會創立總會は二十三日午後一時半から國防會館に於て開催、全滿代表參集の下に經過報告の後時計聯合會、眼鏡聯合會の兩聯合會創立を可決して同五時散會したが、兩聯合會とも理事長森眞三郎、副理事長木村隆祐、前田和男、常務理事廣住周吉と決定した

## 皇太后陛下 第五十六回の御誕辰を迎へさせらる

【東京發國通】皇太后陛下には廿五日御目出度く第五十六回の御誕辰を迎へさせられた、この佳き日大宮御所には午前八時頃より米内首相以下文武顯官等相次いで伺候參賀記帳をなしたが皇太后陛下には正午御祝膳につかせられ、午後には高松宮、同妃兩殿下をはじめ奉り各皇族方が御伺候、皇太后陛下に御對面、御祝詞を言上あらせられ、また宮中との御祝品の御贈答あり御所は終日御喜びに充ち滿ちた、なほこの日秩父宮殿下には第卅八回の御誕辰を迎へさせられた

## 日滿の喝采浴び 記念切手けふ發賣 發行の蔭に感激譜

皇帝陛下が御待望の日本に第一歩を印し給ふけふ廿六日を期して全滿に發賣される美麗な綠、牡丹の二色を用ひた御訪日記念切手（二分、四分の二種）は、油繪原畫グラビヤ版といふ例のない斬新な製作により發賣開始前から非常な前景氣で昨秋十月滿鐵の鐵路一萬キロ突破記念切手に比し約三倍の豫約申込があり、日本中國は勿論遠く歐米諸外國からも註文殺到して早くも數萬の不足を告げて當局を面喰はせてゐるが、この爆發人氣の蔭には御訪日を慶祝する涙ぐましいばかりの赤誠溢るゝ挿話が秘められてゐる

今回の記念切手發行は二千六百年慶祝委員會により今春三月決定したものだが、元來記念切手の發行は通常最少限度六ヶ月の日數を要するので郵政總局では或は豫定の六月廿六日發行は絶望かと憂慮してゐたのを圖案謹製の光榮に浴した民生部囑託太田洋愛畫伯は國民的感激に是非とも酬いたいと懸命の努力をつゞけ、臨月の身であつた澄子夫人（二五）が越えて四月十三日長男洋郎ちやんを分娩した際にも只管圖案構想に專念、初の男子出生のよろこびも顧みず、不幸愛兒が誕生九日目に父に顏を見られることもなく死亡するや精進誓ふ洋愛畫伯は廿二日形ばかりの葬儀のゝち直ちに沐浴潔齋して畫稿をつゞけ、廿三日午前三時第一回御訪日當時御召艦橋上に白鶴舞ひ下る御瑞祥の圖案化を完成したものである、郵政總局でもこの一家の私事を顧みぬ畫伯の涙ぐましい獻身ぶりを水泡にさせてはと直ちに航空便で内閣印刷局に發送して特別の努力を懇請の結果、記錄的短日月を以て見事に出來上りけふの發行を見たものである

美談の主太田洋愛畫伯

御訪日記念切手作製の蔭に畫家として涙ぐましい獻身的努力をなした太田洋愛畫伯（三一）は愛知縣成章中學の出身、獨學で今日に至つた努力の人、目下民生部囑託として滿系各學校用國定教科書挿圖寫眞の原圖製作にいそしんでゐるが、今回の彩管奉仕につき言葉少なに語る【寫眞は太田氏】

切手はおろか圖案などに經驗のない私ですから苦心はしましたが、美談どころではありません、御引受けした以上當然の責任を果したまでです

## 御動靜謹放送 埠頭と東京驛から

皇帝陛下が晴れの御上陸第一歩を横濱埠頭に印せられる廿六日早朝の歷史的御儀と東京驛御着の御模樣は午前十一時二十分から三十分間（横濱）同十一時廿分から廿分間（東京）の二回に亙つてＪＯＡＫのマイクを通じて日滿華三國に即刻謹放送されるが、横濱埠頭では御名代宮樣と御交驩ありことに東京驛には天皇陛下も親しく御出迎への御ため行幸あらせられる御ことゝて、この謹放送こそ日本皇室と滿洲國帝室との御交りいよいよ御濃やかなるを拜するまことに恐懼感激のほかなき世紀の謹放送として日滿兩國民が畏きことながら御待ちわびる歷史的瞬間と申すべきであらう

## 次に來るは綿布 切符制更に前進體形

米の通帳配給について來る七月一日より小麥粉の通帳制を實施する市公署商工科ではこのところ大多忙を極めてゐるが、統制經濟下に於る市民生活安定のために今度は何が通帳、切符制となるだらうかとみられてゐる折柄、同科では矢つぎ早やに綿布切符制實施の下準備を進めてゐる、この切符制は滿人大衆のため特別に行はれるものとみられ、すでにさきに滿人綿布商へ配給された綿布の賣買をストップせしめて諸般の案を練りつゝあり、その實施によつて利賢い惡德綿布商の賣惜しみ暴利が一掃されて滿人大衆は容易に綿布が入手出來ると云ふ一石二鳥の切符制となることゝて速かな實施が望まれてゐる

## 先驅者の靈慰む 協和會生れてより茲に八周年 七月二十五日記念日に祭典執行

八紘一宇の大精神に則る道義國家の建設、民族協和の實踐機關協和會は誕生以來目覺しい活躍ぶりを示しつつ來る七月二十五日第八回創立記念日を迎へるが會運動の進展は會員の熱烈なる實踐と一身を捧げて會運動に殉じた幾多先輩の遺烈によるものであると絶えず行つてゐる物故先輩の祭祀を本年は創立記念行事として各現地毎に合同慰靈祭を執行することとなり國都では當日午前九時から大同公園で協和各分會、義勇奉公隊青少年團、國婦を總動員して大慰靈祭を執行するに決定した、なほ當日は義勇奉公隊の團旗授與式や記念講演會等の計畫も進められてゐる

### 第五回修養講座

協和會首都本部の第五回修養講座は來る七月一日首都協和修養會館で午後七時から中央本部參事坂田修一氏の「歐洲視察談」と題する講演會を開催する

## 義勇奉公隊强化 防衛演習に備へる

一般市民に防空、防毒、防火訓練を行ふ新京特別市防衛訓練は金、姜兩統監の下に七月匆々行はれるが首都協和義勇奉公隊でこれに備へ七月一日の興亞奉公日に定期の總動員訓練を行ふほか二日から工作班の指導下に新京取引所、新京東公園、一匡街國民學校庭、全安橋東詰、大經路國民學校庭の五ヶ所に四十名收容の模範防空壕を構築するのをはじめ衛生隊は七日から第一、二、三次にわたり吉野町、東一條通、三中井及び寶山百貨店附近において擬性ガス投下により防毒、救護の綜合訓練を行ふほか爆彈、燒夷彈、瓦斯彈及び謀略火災を研究して一般家庭防護の指導に當り戰時下の國民自衛を强化し有事に備へようと區隊、特殊隊、特殊班の整備を進めてゐる

なほ防衛訓練當日は一般指導班、情報防空監視通信班、警報燈火班、防火班、防毒班、避難交通班、救護班、施設班を組織して一般市民の協力とゝもに防衛設備の飛躍的促進を圖り防衛戰力の强化を圖るべき準備をも同時に進めてゐる

### 三中井の開拓文化の會好評

三中井百貨店に於て二十五日より開催中の開拓總局、協和會中央本部、滿拓、滿洲開拓靑年義勇隊訓練本部後援の「開拓文化の會」は柏崎武夫氏の寫眞、阪本牙城氏の漫畫、野田武夫、寄本司麟兩氏の油繪によつて遺憾なく開拓地風景の雰圍氣を醸成し好評であるが二十七日閉會の豫定である

▽錦ケ丘高女▽ ▽菅公偲ぶ祭▽

錦ケ丘高女では廿五日午後一時から同校講堂で偉人祭を擧行、今回は菅公祭として菅原道眞公に因んだ唱歌、舞踊、研究發表など全校八百五十名の少女達は學問の神樣を讃えて半日の學藝會を樂しんだ

## 忌明献金（寄託） 佐藤光子さんから

市内新發路帝都ビル三三二號佐藤光子さんはさきに夫清五郎さんを亡ひ二十六日忌明に當り香奠がへしを行ふところこれを廢し國防費の一端にと献金を行ひ故人の追善に資したしと同日本社へ金一百圓を寄託したので直ちに所定の手續を執つた

## 滿洲にも女子大 政府、設立準備に着手

滿洲國内に於ける女子最高教育施設は現在師道高等學校女子部（新京）のみで、同女子部にしても一學級に對する學生の收容能力は僅かに三十名といふ微力なる現狀で、從來は女子國民高等學校卒業生にして上級教育施設への進學希望者はこれら女子部入學者を除き他は日本留學を餘儀なくされてゐたが日本留學による種種の不便を除去するとともに飛躍的發展過程にある滿洲國第二國民育成上より女子最高學府體系の確立が要望されるに至つた、よつて政府はこれが對策として

一、現在の師道高等學校女子部を獨立昇格せしめて女子師道高等學校に改編一學級の學生收容能力を百名乃至百五十名とする

二、師道高等學校女子部を現存のまゝとし新たに大學令に基く女子大學を設置する

の二案につき目下研究を重ね來年度新學期より實施すべく諸般の準備を進めてゐる、この女子最高學府系の確立計畫は來年度を起年とする尨大なる文教整備十ヶ年計畫と相俟つて滿洲國教育國策の劃期的前進を物語るもの●として各方面から多大の期待がかけられてゐる

## 玩具で入場する 開拓兒童慰問祭 七月七日記念行事の異彩

聖戰への導火線となつた蘆溝橋事件滿三周年記念日の七月七日を迎へるにあたり協和會首都本部では種々計畫を進めてゐたが、同日は七夕祭にも當つてゐるので七日午後一時から協和會館で童話、漫畫問答、童話劇映畫による「開拓地兒童慰問おもちや祭」を開催、入場料として玩具、繪本、雜誌類（一品以上）を持參させこれを開拓民家庭、義勇隊等への溫い贈ものに活用するほか滿系側慈善團體を通じて蒐集した玩具、繪本をも配布し兒童に資源愛護民族協和、慈善心涵養につとめると共に今次聖戰の眞目的及び東亞新秩序建設へのたくましき意欲を童心を通じて一般に强調、殉國の英靈に遙かなる感謝の念を捧げることになつた

### 中川日航總裁

大日本航空會社總裁中川健藏氏は二十七日來京ヤマトホテルに投宿、二日間滯在その間國都關係機關に挨拶をなし二十九日朝の定期航空機で離京の豫定

## 街の醜態防遏へ 馬、洋車夫の教育講習

躍進國都の交通難から市民の期待が馬車、洋車に集注されてゐるとき新京乘用馬車人力車營業組合では馬車、洋車の增車をはかつてその期待に應へるため前提條件として賃金値上げ運動を首警に願ひ出たが、當局では現在の如き馬車夫、洋車夫の接客態度では賃金値上げ後の紛爭が氣遣はれるとまづ馬車夫、洋車夫の質的向上を求めたので同組合では全滿でも最初の「馬車夫、洋車夫日常接客日語講習會」を協和會、首警後援のもとに愈よ七月十日から三週間市内北安路三〇二天理日語講習所で開催、馬車夫、洋車夫六百名を三班に分け接客態度、料金受取作法、日常日本語會話等の教授をなし無法な賃金要求者、惡質な不良分子を一掃、市民の足の眞價を高めることゝなつた

## 邁進すべき目標を與へよ 青年自興懇談終る

青年自興運動懇談第六回は二十五日午後二時半より國防會館に於て開催、前日の中心問題となつた青年層への宗教的方面からの思想注入が再び採上げられ、名士名僧の講演に依る精神教育とかハイキング、音樂による情操教育は何時の時代に於ても要望されるものである、吾々は現時局下に青年層當面の問題としては彼等に「或る目標」を與ふべきだといふ事に決着した即ち在滿青年の多くは何等かの目標を持つてゐる者が少く唯漫然と其の日を暮してゐるに過ぎないこの孤獨な生活の爲無意識的に心が荒み、酒色に耽溺する結果を及ぼすのである、これが教育指導に當るにはどうしても「或る目標」が必要で、彼等がそれを摑み得た時こそ現在巷間に問題とされてゐる住宅、米の問題は直ちに解消されて行く「この仕事の爲なら」と言つた目標を彼等に摑ますべきである、これが爲には在京先輩が彼等に親しく接し本人の適材適所を指摘してやるといつた樣に縣人會或は校友會なるものの積極的活動が叫ばれ、六回に亙る懇談會を一先づ終了したが今回の協議事項は單に協議に終らせず實施に乘出すことを誓ふ、首聯終了後更に婦人をも加へた國都全青年層代表を集めてこの運動を續行することゝなつた

### 野村守夫畫伯の個展

文部省主催下に今秋開催の紀元二千六百年奉祝展出品畫の畫材を求めて來滿中の二科會野村守夫畫伯は二十五、六の兩日ヤマトホテルロビーで個人展を開催してゐる【寫眞は會場】

## 近藤光紀畫伯個展 廿八日から

豐かな情操と麗しい色彩と高雅な畫品とをもつた洋畫家文展無鑑査近藤光紀畫伯の個人展覽會が來る二十八日から三十日まで三日間三中井百貨店に於て開催されることになつた【寫眞は近藤畫伯】

同畫伯は明治三十四年東京市に生れ第五回美術院展覽會以來十五回まで每回出品入選、昭和十五年帝展無鑑査となり同十一年帝展改組と共に文展無鑑査、昭和八年新美術家協會員、同十二年一水會展會友、同十四年一水會賞授與の經歷を持つてゐるだけにその實力は内容形式共に充實した味を持ち豐麗な色彩、香り高き藝術性は近來稀に見る好展覽會を豫想されてゐる

## 持ち直すか陰鬱なこの雨 けふあたりから恢復する

滿洲には雨が少いといふ常識を裏切つて今年は雨期に入るより早く連日内地の梅雨を思はせる陰鬱な雨天が續き折角新綠したゝる夏の感觸を喜んでゐた國都市民はすつかりクサツてしまつたが、廿五日中央觀象臺にお伺ひをたてゝみる

低氣壓は内蒙古と新義州北東とに二つあり、新京の西方から南方にかけて新義州まで不連續線が續いてゐるので全國的に曇りがちで所によると雨を見てゐるが、この低氣壓が動けば滿洲東部から次第に天氣を恢復して行くものと思はれる、從つて國都のお天氣は廿五日は未だ惡いが廿六日になると幾分恢復して曇つたり晴れたりといふところでせう

### 大都ホテル宿泊客の盜難

東京市神田區錦町二ノ九軍用鳩協會常務理事田中愛助（三九）同近久央（三七）同只野善四郎（五四）三氏は二十四日來京、日本橋通大都ホテル一號室に投宿したが、二十五日朝起きてみれば田中氏は三ツ揃背廣他三點、近久氏は現金百三十三圓三十錢、背廣他五點、只野氏は現金九十五圓、背廣、ウオルサム懷中時計（九金鎖付）他數點を竊取されたのに氣づき中央通署へ屆け出た、犯行は二十五日午前一時から同七時までの間とみられる

### 小泉中銀秘書

前滿洲中央銀行總裁田中鐵三郎氏の懷中刀として幾多功績をのこした秘書小泉安平氏は今回後進に途を開いて勇退、二十九日午後一時四十分發あじあで家族同伴離京三十日大連出帆の日滿連絡船で歸國東京で田園鄕の生活に入るはず

### 分七鳩

協和會首都本部の提唱による敬農愛耕運動、先づ手近かな市中の空地に蕎麥を植ゑやう、それは各分會の勤勞奉仕で空地を耕し種をおろし、あとは適宜に除草してやれば秋には血を吸つた南京虫みたいな實が累々とみのる

×

その收穫は糧穀會社が買上げ、代金は分會の所得に歸する、つまり勤勞と收入、一石二鳥の名案でムらうとそれ〳〵通諜を發した、これを接受して面喰つたのは敷島區の事務所だ、新市街方面なら兎も角、舊附屬地地域に耕作出來るやうな閑地がどこにあると思つてるのか認識不足も甚しい

×

どうしてもといふなら植木鉢を買つて來て植ゑるより他に方法はない、尤もさうすれば花が咲いたら觀賞出來る、それに勤勞奉仕と收入で一石三鳥ともなるが一應はお伺ひをたてゝでないといけないだらうと、早速蕎麥植木鉢栽培可然やと照會したところ、尤もな次第敷島區は其儀に及ばず、それは他區への指令であると折返し取消して來たさうな

けふの天氣　北東の風曇つたり晴れたり時々雨

きのふの氣溫　高 二二度四　低 一六度九

# 世紀の英雄 (86)

番仲二 作　夏目醇 畫

新しき土（十一）

それ等の村が如何に疲弊してゐるかといふ事は、何も濁酒密造の罰金が拂へなく、年寄りが身代りに行くといふ事實からでなくても山林と畑とをみれば一目瞭然である。

まづ山に樹木が無い。そして耕地が實に狹い。

この村は、田が約五十町歩、畑二百町、農家戸數が四百、すると、一戸當り平均六段何畝といふ數にしか當らない。

日本農民がまづ食つて行く爲に必要な耕地といへば一戸當り三町歩と言はれてゐるのに六段何畝ではまさに飢餓的數字であらう。

そこで、村民等は炭燒きと養蠶によつて金を得ようとする、炭燒きは比較的に率がよく、誰も彼も炭燒きに從事したゝめ山は忽ち坊主山になつてしまつた。

またもとのもくあみである。かくて村民の窮迫は前にも増してはげしくなる。

一方、百姓の間には、梟といふ商賣が存在してゐる。これは他でもない例の濁酒を夜明け前の薄暗い時刻にふくろうのやうにそつと賣りあるく事を指すのだ。

清酒は買へないし、といつて濁酒を密造して何度も刑を喰ふのではかなはないので、この梟から一升二十錢、二十五錢といふ濁酒を買ふこれ等の百姓は相當に多く、隨つて梟はなか〳〵馬鹿に出來ない商賣となる。

亭主に先だゝれた後家や働きたくも仕事のみつからない百姓などが、この梟をやる。

さうした中に、奧江良夫の母があつたのだ。

奧江の母といふのは亭主に死なれ、女一人で子供を四人もかゝへてゐた。その

これが最近この地方に來た課税員の家でたちまち捕へられてしまつたのだ、良夫は驚いて逃げ出したが、課税員の腕は、彼と、證據物件である濁酒の瓶をつかんで放さうとしない。

良夫は子供乍らにはげしい抵抗をこゝろみた。

『逃げるか』

酒役人の摑んでゐる良夫の肩から音をたてゝ籠が轉がつた。籠からはビール瓶につめた濁酒が土間に破片と共にこぼれ出た。

良夫は、無我夢中で、そのビール瓶のこはれた口を握ると、相手の顏につき刺したのだ。

——その結果は、少年に似合はぬ狂暴性を備へてゐるといふので、少年保護院行きであつた。

——塚田源太郎と、奧江良夫の二人は、少年保護院から脱出し、附近の驛の倉庫へしのび込んで、そこで一切の話を源太郎は良夫から聞いたのだ。

『お前、そんな困つてゐるおッ母の許へ行つてどうするんだ？』

『どうするつて、おらが行かなきや、おッ母はなほ困るぢやねえか』

さう話してゐる中に、夜中にこゝに一寸停車して水を汲みかへて行く貨車がきしみ乍ら構内へ滑りこんで來た『あれへ乘るんだぜ』

車掌のカンテラの灯が二人の前を通りすぎた時、源太郎と良夫は、さつと踊り出て牛のつないである貨車の



## 列車發着表

**○大連方面行**

| 行先 | 時刻 |
|---|---|
| 大連行 | 前二時三十分 |
| 奉天行 | 六時廿五分 |
| 釜山行 | 八時 |
| 奉天行 | 八時卅五分 |
| 大連行 | 九時三十分 |
| 營口行 | 十時三十分 |
| 四平街行 | 十一時三十分 |
| 奉天行 | 後一時 五分 |
| 大連行 | 一時四十分 |
| 大連行 | 二時三十分 |
| 大連行 | 三時廿五分 |
| 四平街行 | 四時五十分 |
| 釜山行 | 六時五十分 |
| 四平街行 | 七時四十分 |
| 大連行 | 九時四十分 |
| 大連行 | 十一時十三分 |
| 奉天行 | 十一時三十分 |

**○哈爾濱方面行**

| 行先 | 時刻 |
|---|---|
| 哈爾濱行 | 前三時四十三分 |
| 德惠行 | 五時十五分 |
| 哈爾濱行 | 六時三十分 |
| 哈爾濱行 | 八時 十分 |
| 哈爾濱行 | 九時 |
| 哈爾濱行 | 後十二時五十三分 |
| 哈爾濱行 | 三時十五分 |
| 哈爾濱行 | 五時三十分 |
| 德惠行 | 七時 十分 |
| 哈爾濱行 | 十時卅五分 |
| 牡丹江行 | 十一時四十五分 |

**○圖們方面行**

| 行先 | 時刻 |
|---|---|
| 吉林行 | 前七時五分 |
| 羅津行 | 八時卅五分 |
| 圖們行 | 九時四十五分 |
| 吉林行 | 後一時 |
| 牡丹江行 | 三時二十分 |
| 吉林行 | 七時廿五分 |
| 清津行 | 十時五分 |

**○白城子方面行**

| 行先 | 時刻 |
|---|---|
| 白城子行 | 前八時廿五分 |
| 白城子行 | 十時四十五分 |
| 前郭旗行 | 後五時三十分 |

**○大連方面より**

| 發地 | 時刻 |
|---|---|
| 大連發 | 前三時卅二分 |
| 大連發 | 六時十八分 |
| 奉天發 | 七時四十五分 |
| 大連發 | 八時 |
| 四平街發 | 八時四十六分 |
| 四平街發 | 九時四十分 |
| 釜山發 | 十一時卅二分 |
| 奉天發 | 十一時四十三分 |
| 大連發 | 後十二時三十分 |
| 大連發 | 三時 |
| 大連發 | 四時二十分 |
| 大連發 | 五時二十分 |
| 營口發 | 六時四十八分 |
| 大連發 | 八時二十分 |
| 奉天發 | 九時廿五分 |
| 釜山發 | 九時四十五分 |
| 奉天發 | 十一時三十分 |

**○哈爾濱方面より**

| 發地 | 時刻 |
|---|---|
| 德惠發 | 前零時三十分 |
| 哈爾濱發 | 二時二十分 |
| 牡丹江發 | 六時五十四分 |
| 哈爾濱發 | 前七時五十四分 |
| 德惠發 | 十一時三十分 |
| 哈爾濱發 | 後十二時五十分 |
| 哈爾濱發 | 一時三十分 |
| 哈爾濱發 | 三時 十分 |
| 哈爾濱發 | 六時四十分 |
| 哈爾濱發 | 九時三十分 |
| 哈爾濱發 | 十一時三分 |

**○圖們方面より**

| 發地 | 時刻 |
|---|---|
| 清津發 | 前七時五十二分 |
| 吉林發 | 十一時廿四分 |
| 牡丹江發 | 後二時 十分 |
| 吉林發 | 五時廿一分 |
| 圖們發 | 八時四十分 |
| 羅津發 | 九時三十分 |
| 吉林發 | 十一時十五分 |

**○白城子方面より**

| 發地 | 時刻 |
|---|---|
| 前郭旗發 | 十二時一分 |
| 白城子發 | 後六時卅二分 |
| 白城子發 | 九時 五分 |

**大阪商船出帆**

| 船名 | 日付 |
|---|---|
| 吉林丸 | 六月廿七日 |
| うらぷらた丸 | 六月廿九日 |
| 扶桑丸 | 六月三十日 |
| うすりい丸 | 七月一日 |
| さんとす丸 | 七月二日 |
| 北緑丸 | 七月三日 |
| うらる丸 | 七月五日 |
| 黑龍丸 | 七月五日 |
| 熱河丸 | 七月六日 |

（門司、神戸行）（午前十一時大連出帆）
三角、鹿兒島那覇行　大阿丸　五月廿四日　午後三時大連出帆
事務所＝大連、奉天、新京、哈爾濱、驛とビューローで連絡切符發賣